

Bank of the Ryukyus' Okinawan Economic Review

# りゅうぎん調査

2017  
No.578

# 12



## 経営トップ

### オム・ファム株式会社

より快適なペットライフを、より多くのお客様に届ける

## 起業家訪問 An Entrepreneur

### 株式会社クロックワーク

RRI No.137

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所



※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

## CONTENTS

### 経営トップに聞く 01

#### オム・ファム株式会社

～より快適なペットライフを、より多くのお客様に届ける～

代表取締役社長 中村 毅



### 起業家訪問 An Entrepreneur 06

#### 株式会社クロックワーク

～「食品衛生のパートナー」として、食の安心・安全の  
お手伝いをする。県内唯一の民間食品検査専門機関～

代表取締役 伊志嶺 哉



### 新時代の教育研究を切り拓く 08

～養豚場排水を微生物燃料電池できれいに浄化～  
沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション  
(同大学のHP記事より許可を得て転載)

### OCVBの取り組みについて 11

～沖縄観光の顔「ミス沖縄」の活動内容について～  
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

### アジア便り 香港 16

～好調な小売売上高、各種イベント～

レポーター: 上原 和久(琉球銀行)  
沖縄県香港事務所に出勤中(副所長)

### りゅうぎんビジネスクラブ 20

～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～

### 行政情報97 21

沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について  
内閣府沖縄総合事務局経済産業部

### 県内大型プロジェクトの動向95 24

### 沖縄県の景気動向 (2017年10月) 26

～観光関連の入域観光客数や消費関連のスーパー売上が前年を上回り、建設関連も引続き  
好調に推移するとみられ、県内景気拡大の動きは38カ月連続で強まっている～

### 学びバンク 38

- ・労働市場に供給余力 ～賃金上昇へ需要喚起を～  
りゅうぎん総合研究所専務取締役 久高 豊(くたか ゆたか)
- ・平良港整備事業 ～クルーズ拠点に優位性～  
琉球銀行宮古支店長 山入端 裕哉(やまのは ひろや)
- ・民事信託の活用 ～自由度が高い資産管理～  
琉球銀行法人事業部法人ビジネス推進グループ調査役 小谷 怜(こたに れい)
- ・ドローン市場拡大 ～6年間で6倍に急成長～  
琉球銀行大宮支店長 比嘉 一史(ひが かずふみ)

### 経営情報 未払残業代の税務 40

～企業が過去の未払残業代の支払を行うケースがふえています～  
提供 太陽グラントソントン税理士法人

### 経済日誌 2017年11月 41

### 県内の主要経済指標 42

### 県内の金融統計 44

経営  
トップに聞くより快適なペット  
ライフを、より多く  
のお客様に届ける

うちのこ一番

PET BOX

オム・ファム株式会社 (PET BOX)

なかむら つよし  
中村 毅 社長

「PET BOX」を店舗名として、運営会社であるオム・ファム株式会社を中村毅氏が1995年8月北谷町に設立。翌年4月にPET BOX 北谷店を開店し以後、那覇店、アクア系のペット（観賞魚等）の専門店であるピアノコ店をオープン、県内最大の店舗面積、豊富な設備、商品を誇っている。昨年より「ペットカーニバル」を主催するなど、本業のペット販売以外の関連事業にも取り組んでいる。今回は北谷町の本社をお訪ねし、中村毅社長に同社のこれまでの歩み、事業内容、経営理念、今後の展開などをお聞きした。

インタビューとレポート 大谷 豊

### 御社設立の経緯やこれまでの歩みを聞かせてください。

「PET BOX」を開店するまでは、本土の大手電機メーカーである東芝に勤務するサラリーマンでした。当時、東芝ではPOS（ポス）システムの開発事業部に在籍しておりました。同社が沖縄に本格的に進出するにあたり、沖縄出身の私に県内の状況調査と人脈作りをするよう沖縄担当を命じられ、東京と沖縄を行き来する日々が続いていました。

実は私、かねてより30歳になったら独立したい、会社を沖縄で起ち上げたいと思っていたのです。そんな時、名護にまとまった土地を見つけたのです。丁度、第二次ボーリングブームが起きている頃でした。しかも、名護には名桜大

学がその前年に設立されたばかりで県内でも名護地域の発展が予想されていたのです。ボーリング経営で起業しようと勇んだのですが、一介のサラリーマンで経営の経験、資金力も少ない私にはその野望は断念せざるを得ませんでした。

引き続き県内の取引先でポスシステムの管理やコンサルをしていたとき、あるホームセンターからペット関連商品の売り上げが順調に伸びているのでペットコーナーを拡大したいとの相談がありました。ホームセンターでこれ程なら、専門店にすればもっと売上が期待できるのではと考え、起業を決意したのです。

最初に申し上げたようにペットのことを何も知らないものですから、当初は大阪にある全国フランチャイズのペットショップの一つとして





ペットボックス北谷店外観



アニマルステーション那覇の外観



オキナワビアンコの外観



豊富な種類のペット商品（北谷店）

ノウハウを学びながら当地、北谷に店舗を構えたのです。

お陰様で、開店当初、運よくラジオの公開生番組に採り上げさせて頂いた宣伝効果もあり、開店二日間で準備した商品の大半を売り切るという記録を達成しました。その翌日からは商品が入荷するまで開店休業状態という程でした。

それから、2年後この全国FCが倒産ということになり、当社も運営方法を変更せざるを得なくなりました。それまでFCでの仕入れに販売商品の約8割を依存していました。加えて毎月数十万円のロイヤルティ料がコストだったのですが、仕入れを県内に切り替えることで、入荷時間も短縮、ロイヤルティ料の負担も無くなり、結果収益も安定してきました。再開後のおもろまちに2号店を出店、隣地にはアクア専門のビアンコも出店でき現在に至っております。

社名のオム・ファムとはフランス語の雄・雌の意味で、生きとし生ける物そのほとんどが雄・雌で成り立っているという生命の根源を大切にする姿勢を表しています。

### 三店舗の業務についてご紹介いただけますか。

当社は犬・猫等の小動物、観賞魚並びにその餌等の関連商品の販売および総合ペット関連の各種サービスを提供する会社です。

### ○PET BOX（ペットボックス）北谷店

犬・猫等の小動物やアクアリウム、その餌等の関連商品販売とトリミングやペットホテル等各種サービス提供を行っています。

### ○PET BOX アニマルステーション那覇

こちらも犬・猫・小動物中心の業務です。那覇店には特にドッグランも設置、好評を得ています。

### ○オキナワビアンコ

アニマルステーション那覇に隣接する観賞魚、爬虫類専門の店です。西日本一の品数を誇っており、特に水草の品揃えには自信を持っております。観賞魚等のアクア系は維持・管理が難しいので当店では一週間保証付きで販売しています。他の2店でのフードについても同保証を付け販売しています。恐らく日本で唯一の取り扱いと思います。当店では自信を持って飼育した魚類を販売、フードも気に入らなければ無償で交換致しています。

### 御社の経営理念についてお聞かせください。

当社の経営理念は次のとおりです。

### <経営理念>

“いい会社をつくりましょう”です。

そして、その目指す姿を社訓ではなくあえて家訓として次の様に表しています；





充分なスペースのドッグラン（那覇店）



豊富な種類の水草（オキナワビアンコ）



店内を毎日、清掃・整理・整頓でお客様を迎える



托鉢活動の店周清掃

- 一 社員と社員をささえる家族の「幸せ」を追求する。
- 二 お客様によるこばれ「ありがとう」と感謝される。

この「いい会社」をつくる為の 11 箇条を次のとおり定めています。

- 一 社員と社員をささえる家族の幸せと生活を守る。
- 二 動物たちの命を守る。ペットは家族。
- 三 基本の徹底は気持ちを込めて「あいさつ、環境整備、欠品の防止」をする。
- 四 会社を支えてくれるお客様一人一人を家族を迎えるような気持ちで接する。
- 五 常にフレンドリー感を忘れず感じのいいお店、きれいな店舗づくりをする。
- 六 インパクトある広告や発信をどうすれば伝わるか？常に工夫する。
- 七 ペットカーニバルを通して社会貢献する。
- 八 仕入先を大切にする。
- 九 自ら感じ、考えて結果にコミットする。  
そのための報・連・相も徹底する。
- 十 目の前にいるお客様（相手）の人生の時間を大切にする。
- 十一 以上のことを「素直な心で」実行し継続する。「信頼ある企業が、信頼ある商品、サービスをつくってファンをつくる」

これを毎日の朝礼で暗唱することで身に付けてさせています。

### 御社の人材の育成についてもお話しただけですか。

私は常々、「ミネラルウォーターの様な経営をしたい」と思っています。ミネラルウォーターは何処に行っても安心、安全、不偏なものです、経営者として 22 年の人材育成で辿り着いた想いは、「究極的には、何の指示をしなくても会社が成り立つ教育ができればこの上ない」と。ただし現実には、当社独自の人材育成として先程のいい会社になる為の 11 箇条の実践に取り組んでいます。

毎日、整理・整頓・清掃を徹底して行うことで作業効率化や安全な職場環境作りにつなげています。月一度は「環境整備点検」で各店舗の状況をチェックしています。また、月一回、店舗周辺の道路などを清掃しています、地域の清掃をすることで感謝の気持ちを育むものと位置付け、当社では社会貢献というより“托鉢活動”と呼んでいます。

当社の職員の半分以上は女性であり、毎月女子会を開催、各店舗の課題等を女性ならではの視線で、議論してもらい店舗運営に活かしています。並行して社員中心の勉強会もあり、店舗



全員に配布する経営計画書



ペットカーニバル 2016  
の様子



レジで“ピッ”と簡単にペトリボン募金が出る



ペトリボン募金を印字したレシート

の業績の数値や戦略等を学ぶ場としています。

また、当社ではエンパワーメントの考えを採り入れ、先程の11箇条にもあるように社員の自主性を重視し大胆な権限委譲を行なっています。管理職を極力少なく、各店舗の運営は各店長に任せ、定期報告と何かあれば都度、相談を受け、必要があれば指示を出すというやり方です。実践するための教育として次の3つを中心に指導・教育に当たっています。

○全ての情報開示（情報共有）：会社、店舗の売上や社長の給料まで開示し情報共有することで権限移譲がスムーズにできます。経営計画書を全員に配布し朝礼で読み上げ、方針や社内ルールを周知徹底します。

○自らの境界線を認識させ、自立した働き方を促す（範囲）：情報開示によって自身の職場での役割・序列を理解させ目標達成に対する責任感を持たせます。各自の経営計画書には評価制度や当人の序列が表示されています。

○セルフマネジメントチームを育てる。（全員で責任を分かち持つ）：自ら考え行動し目標達成、課題解決させる。

そして、下期政策勉強会として、年度初めから半期終了した10月に半年間の振り返り、業績表彰を行なっています。アルバイトスタッフ

中心に家電製品が当たるじゃんけん大会も同時開催しています。

## 社会貢献活動についてお聞かせください

先程の店舗周辺の清掃の他、沖縄の命を守る活動を行なっている団体である、メッシュサポートや美ら海プロジェクト、どうぶつ達の病院へ寄付を行なっています。

昨年より始めた「ペットカーニバル」というイベントにも取り組んでいます。

これは近年、社会問題化している「犬猫の殺処分ゼロ」を目指すための活動です。ペット関連の会社の協力を得て開催し、目的は「救える命は救いたい」「2025年までには犬猫殺処分“0”を目指す」ものです。沖縄の犬猫の殺処分の現状を紹介し、ペットを家族の一員として迎え、ペット人口の拡大を啓蒙する活動なのです。物品の販売を行ないませんが、動物愛護団体に引き取られている犬猫の里親紹介も実施するものです。

更に、今年8月には当社自ら「ペトリボン基金」を設立して募金に取り組んでおります。これは募金により、行き場のない犬猫の里親探しや、去勢・避妊手術費用に充当するものです。将来的には、彼らを一時的に預かり、手当等のケアをするシェルターを設立、その運営費にも

## 企業概要

商 号: オム・ファム株式会社

本部所在地: 沖縄県中頭郡北谷町美浜 2-2-5

連 絡 先: 098-989-0090 (代表)

設 立: 1995 年 (平成 7 年) 9 月

役 員: 代表取締役社長 中村 毅

取締役 宮良 さつき

取締役 新垣 善成

従業員数: 59 人 (含むパート)

事業内容: ペット小売 (犬、猫、小動物、  
熱帯魚、水草、爬虫類、生体・  
用品販売)、トリミング、ペッ  
トホテル店 舗: ペットボックス北谷店、アニマ  
ルステーション那覇、オキナワ  
ビアンコ

バーコードを檻に例え、  
ピット募金で檻を破るイメージ

活用を広げたいと考えています。

今回、募金の方法には私が昔ポスシステム業務に携わっていたこともあり、バーコードを利用した画期的な募金システムにすることができました。つまり、商品をレジで精算する際に募金用のカードを提示するだけで、商品代金と一緒に「ピット募金」ができるのです。募金用カードは店頭を用意し、20 円からの募金です。それ以上の募金は 20 円の倍数額としてレジで操作し受入します。レシートには商品代金の明細とは別にペトリボン基金への募金額が印示されます。

従来の募金は募金箱に投入で終わりでした。しかしこのペトリボン基金なら、募金額が判り、自分は募金者なのだという自覚をもつこともできるのです。募金を受け付ける店舗や団体も箱の管理や募金額の集計作業の必要がありません。銀行窓口で現金を持ち込まず基金に振り込む仕組みです。この募金を取扱う加盟店も募集しています。新たな設備負担も無く、手軽に取り組めるものです。お陰様で、起ち上げ当初より県内メディアに採り上げられ、協賛も頂いております。当社ではこれを“沖縄方式”とでも命名して全国に広めようと考えています。

### これからの取り組みや事業展開についてお話しいただけますか。

当面は先程のペトリボン基金の活動を広めていきたいと考えております。目標金額は年間 1 千万円としています。基金を始めたきっかけは、動物愛護団体や NPO 法人は実は資金的な支えが一番必要という現状を知り、その資金面の支援として開始しました。

これら動物愛護団体や NPO 法人の大半はボランティアで支えられ、その活動は安定していません。そこで、基金活用により団体・NPO 法人への常時雇用が促せれば、活動の維持が可能となり目標達成もできると考えたのです。

それから本業のペットショップ以外の事業にも拡大したいとも考えています。観光産業事業でのペットのお土産です。県産食材を利用したコラボ商品の開発によるペットフード販売を始めています。その他業態でもペットに関わりを持たせ、ペットと末永く一緒に暮らせる環境作りの手助けになる業務展開を考えています。今までにない形かも知れませんが、挑戦してまいります。



## 株式会社クロックワーク



「食品衛生のパートナー」として、  
食の安心・安全のお手伝いをする。  
県内唯一の民間食品検査専門機関。



伊志嶺 哉 社長

### 事業概要

- 代表者 い し み ね た か し 伊志嶺 哉
- 設立 2006年3月
- 事業内容 微生物検査受託、食品衛生関連機器  
取扱い
- 本社 沖縄県那覇市牧志 2-19-10
- TEL 098-941-3929
- 社員 23人

### 起業への道のり

弁護士志望で司法試験合格を目指していた伊志嶺氏は30歳の時、その夢を断念、沖縄に戻った。実家は土建業と多角化として始めていた弁当チェーン店を運営していたが、その事業は姉と兄に任せ、自身は実家が計画していた新規事業の清掃業務を実行する会社として株式会社クロックワークを起ち上げた。

社名のクロックワークは父の好きだった格言「倦まず、弛まず、進み行く」を現代風に解釈、地道にコツコツとこなすゼンマイ仕掛けのように仕事を進めようと命名したものだった。

### 特殊洗浄清掃業を始める

取り組んだのは「重曹」利用の清掃だった。効果はあるものの、清掃道具等の費用が高つくものだった。しばらくは新規受注がなく、売上の見通しも立たないことから、ひとりで事務所も設けず、中古車での営業廻りをする日々が続いたという。

その後も、大手スーパーのトイレ清掃などを他の業者と折半で請負、当座の費用を賄うという厳しい状況に変わりなかった。

### 除菌システムの販売代理店

その頃、現在の主力事業である除菌システムのメーカーが沖縄での販売代理店を募集することを知り、その代理店となった。大手コンビニの食品工場利用の機械で信頼が置けると考え応じた。専門知識が必要であるにも関わらず、サービス単価が低いため、伊志嶺氏以外の応募者が無かったのも事実だった。

しかし、代理店にはなったものの当時の伊志嶺氏は食品衛生については素人。代理店として、サービスの品質を維持するためには食品衛生の知識が必要と思い、導入先コンビニの食品工場の実態視察、勉強をすることにした。東北、東京、大阪等5箇所を視察、各地の工場長に教えを請い、6ヶ月間学んだ。

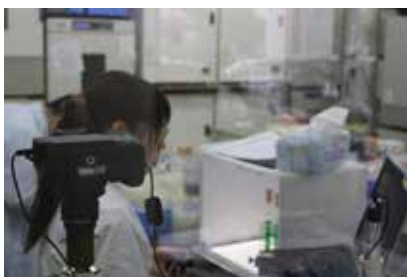
### 米軍の軍用規格取得を支援

その後、県内の食品工場から米軍の軍用規格を取得したいという相談を受けた。カット野菜の納入という比較的単純な作業工程だったこともあり、短い期間で取得できた。

米軍の軍用規格は、食品の国際的品質管理規格のHACCP（ハサップ）の考え方に基づくものである。しかし、HACCP認証はある程度の基準をクリアすれば与えられるものであるのに対し、軍用規格は軍の基準以下は排除するという厳格な基準だった。

その作業は困難であったが、HACCPや軍用規格に共通する製造工程表、危害分析、マニュアルなどの作成は「ある事象」に「特定の目的を持つ基準、ルール等を当てはめ」、「論理的、科学的合理的根拠を示しながら結論を導く」という司法試験の勉強にそっくりだった。

「公平性・平等性を保つと抽象的になりがち



食品検査室



検体の検査



事務室内



持ち込まれた食品を検査中



検体の検査



北海道法人とはビデオ通話で打合せ

な表現を具体的な形で現場に落とし込む作業というのは正に法律家の仕事に近いものでした」と伊志嶺氏は語る。当時、国内でカット野菜工場の軍用規格取得は日本マクドナルドに次ぐもので、2例目の実績と発表され、当社の食品衛生の専門会社というイメージ醸成につながった。現在は、小さな事業所でも気軽に相談ができる「まちの検査室」を目指している。

### 微生物検査センター

お客様からお預かりした食品の検査・分析を行う部署で以下の業務を担当する。

- ・**食品表示、栄養成分**：法に定められた要領で表示できるよう対象食品の分析をする。
- ・**賞味期限**：販売する場合と同じ条件で食品を保管し、賞味期限設定のための科学的根拠を提供する。

その他、クレーム対応の検査・分析も行なっている。

### 食品衛生サポート部

- ・**衛生管理**：除菌システム「ステリミスト」を食品工場内に設置、自動で除菌液を噴霧するもの。
- ・**業務改善、社員教育**：個々の食品検査等と併行して重要なのが業務工程の改善や職員の意識教育。

### 北海道に現地法人設置

2012年10月、北海道に現地法人設立。当社が独自に調整した除菌システム「ステリミスト」が全国的に評判になり、北海道の大手乳業メーカーにも採用され北海道に進出。以

来、関連取引先の紹介や、北海道大学教授の助言と北海道の助成制度も利用して法人設立となった。

### 県産農水産物の鮮度保持・機能性の調査事業の受託

北海道の事業展開を通じて、道産じゃがいも等が日本全国のスーパーの店頭に年中あるのは、その鮮度保持技術が優れているためであり沖縄の第1次産業との差を痛感していた。

また北海道では玉ねぎやヨーグルトの機能性など多くの食品機能性が研究されており、その技術を沖縄に導入出来れば、さらなる市場拡大につながると考えていた。

同様の問題意識は県の農林水産部にもあり、公募されたこれらの調査事業にJA おきなわと共同で取り組み、産業技術総合研究所（つくば、北海道）の協力でシークワサー機能性の基礎理論を立証することができた。

### 今後の取り組み

同社では今回のシークワサー機能性の基礎理論を特許申請した（特許権は沖縄県の所属）一方で、更に他の県産食材の可能性を追求するお手伝いもしたいとしている。

これらの研究が県産農林水産物のブランド化と農家の所得向上に繋がると同社では期待している。

また今後、国内のすべての食品関連業へHACCPの制度化が予定されており、食品工場のみならず食品販売店もその対象になるという。伊志嶺社長は小規模の店が多い沖縄は特に喫緊の対策が必要であると、対応準備を進めたいとしている。（レポート 大谷 豊）

※沖縄科学技術大学院大学のHPから  
許可を得て転載した記事です。

# 新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

## 養豚場排水を微生物燃料電池できれいに浄化



環境に対する今日の問題のひとつに、工場や事業所から出る排水問題があり、養豚などの農畜産業からは、有機物質や悪臭を放つ物質、その他の物質を含んだ多量の汚水が排出されます。通常、排水処理・再利用には、曝気、一部は肥料として利用したり、海外では特定の沼地や湿地に溜めて自然に浄化させたりする方法があります。沖縄のように養豚場の多い地域では、排水処理や再利用の課題を抱えています。このような状況を改善するため、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の生物システムユニットでは、微生物燃料電池と呼ばれる水処理技術の開発に取り組んでいます。

微生物燃料電池は、排水などに含まれる微生物の働きによって分解される物質やそれら微生物がたくさん詰まっている無酸素状態の装置で、バイオ電気化学システムを用いて作動します。つまり、装置内の微生物が有機物を分解した際に発生する電子を電極に渡すことにより電力を作り出すのです。外部からの電源供給は必要ありません。微生物燃料電池内部を排水が通

過するとき、微生物は、排水の中に存在する有機物を消化します。そうして、装置の反対側から浄化された水が排出されるという仕組みです。さらにこの消化プロセスにより、装置自体が必要とする電源の自己供給が可能になります。このように、排水処理作業によって浄化し、同時に電気エネルギーを発生させることのできる装置なのです。



生物システムユニット内にある微生物燃料電池。内部には、沖縄県畜産研究センターで採取した養豚排水が入っている。



「この装置はメンテナンスが容易でコストがかからない上、可動式のパーツがあまり多くありません」と、OIST生物システムユニットに所属するシンプソン・デイビッド技術員は説明します。

「理想は、必要な場所に装置を設置するだけで、あとはそれを忘れてしまってもよいようなものを作ることを目指しています。装置自身が排水をモニターして処理を行ってくれるのです」と、OISTで生物システムユニットを率いるイゴール・ゴリヤニン教授も説明します。

OIST研究チームはすでに、様々な種類の排水に対し、大きな故障なく長時間稼働できる性能の微生物燃料電池を開発することに成功しています。そしてこの度、さらに装置の性能を高める方法を考案しました。本成果は、オープンアクセスの科学ジャーナルである *Scientifica* に発表されました。微生物燃料電池の稼働を始める前には、消化機能を持つ微生物群の培養と植菌を行います。この準備段階には、微生物燃料電池内部の負極の部分に

あたるアノードと呼ばれる部分に、微生物を含んだ少量の汚泥が必要です。ここで、あとに続く排水処理で役に立つ微生物が増殖されるのです。

本研究で、OIST研究員らは、アノードに入れる汚泥が、過去に特定の同じ排水に触れているものであれば、微生物燃料電池はより高い性能で排水処理ができるという仮説を立てました。この仮説を検証するため、研究チームは、沖縄本島北部、今帰仁村にある、沖縄県畜産研究センターの協力のもと試験を実施しました。試験には、同センターの養豚場および地元醸造所の浄化槽から回収した汚泥をそれぞれ使用しました。これらの汚泥による微生物燃料電池の処理能力を比較すると、養豚場の汚泥を利用した微生物燃料電池のほうがより良く養豚場の排水を処理できることが分かりました。その際、研究員らが指標にしたのは、水質の指標となる化学的酸素要求量（COD）と、臭気のもととなる揮発性脂肪酸の除去率、そして発電量でした。



沖縄県今帰仁の沖縄県畜産研究センターの家畜排水を採取するデイビッド・シンプソン技術員



沖縄県畜産研究センターで飼育している豚

(写真提供：沖縄県畜産研究センター)

研究チームは養豚場のほか、沖縄県内の泡盛醸造所、スコットランドのウィスキー蒸留所、そして米国カリフォルニアのワイナリーなど、国内外で微生物燃料電池の設置をしてきました。カリフォルニアでは、処理された排水を小規模な灌漑用水として利用しています。また、泡盛醸造所に設置した微生物燃料電池は5年ほど稼働し続けており、今のところこの泡盛醸造所で処理した水は、下水道に排出できる安全な基準を満たすレベルまで浄化されていると、シンプソン技術員は話しています。

「排水に含まれる有機物を90%程度の高い割合で取り除くことができます」とシンプソン技術

員は続けます。「しかし、その反応で窒素とリンが残ります」これらは、藻類を繁殖させ、水中の酸素を減少させます。そこで研究チームはその排出を減らす取り組みを目指して、まずは研究室内で、これらの栄養素（窒素とリン）を回収・除去する研究を続けています。

現在、研究グループは沖縄県の補助金を受け、沖縄県環境科学センターおよび沖縄県畜産研究センターと共同で、養豚排水よりリンと窒素を取り除くための解決策の開発に取り組んでいます。実現すれば今後、肥料として、貴重で持続可能な副産物となり得る可能性を秘めています。



OIST生物システムユニットが沖縄県内の泡盛醸造所に設置した微生物燃料電池

「排水を処理することは、ゆくゆくは安全な飲み水の供給がない国の人たちの役に立てることにつながります。水を浄化し、飲み水用の井戸に利用することができるかもしれません」とゴリヤニン教授は語ります。

現在、OIST研究チームは、いつの日か地球全体の排水処理問題を軽減するという目標に向かって、試験や運用を重ね、微生物燃料電池を最適化する研究を続けています。



OISTではキャンパスツアー（ガイド付もしくは自由見学）を行っています。詳細は地域連携セクション 098(966)2184 までお問い合わせください。

OISTについてより詳しくお知りになりたい方は[www.oist.jp](http://www.oist.jp)をご覧ください。

## ～沖縄観光親善使節「ミス沖縄」～ 沖縄観光の顔「ミス沖縄」の活動内容について



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：平良朝敬、以下 OCVB）は、1981 より 36 年にわたる自主事業「ミス沖縄選出事業」を継続発展させてきました。本年 11 月には第 37 代目のミス沖縄 2018 が誕生し、歴代 100 名を超えるミス沖縄を輩出しています。今月はミス沖縄選出事業についてご紹介いたします。

### ミス沖縄

ミス沖縄は沖縄観光親善使節として国内外へ派遣され、観光関連行事や公式行事、トップセールス等の誘客活動や親善交流を年間延べ 600 日以上（※ 3 名計）展開し沖縄を代表する存在として活躍しています。



沖縄観光親善使節 ミス沖縄 2017  
ミス沖縄 2017 スカイブルー 嘉数晴花  
ミス沖縄 2017 コバルトブルー 町田満彩智  
ミス沖縄 2017 クリーングリーングレイシャス 島袋愛梨  
（※左から）



### ミス沖縄選出事業

ミス沖縄選出事業は、OCVB の自主事業による高度な人材育成事業として継続発展しています。本事業では毎年 3 名のミス沖縄を選出し研修や派遣等を通して育成し、沖縄の産業界に貢献する人材の輩出を目的としています。歴代ミス沖縄のその後の活躍にも、人材育成の成果を見ることができます。本事業は以下の 3 つの柱で構成されています。①ミス沖縄選出大会②ミス沖縄研修③ミス沖縄派遣

### ミス沖縄選出大会



ミス沖縄 2018 選出大会特別協賛審査員

ミス沖縄選出大会は、県内多数の企業や団体の協力の下 OCVB が実施しており、本年も 45 社に及ぶ企業・団体の協賛により「ミス沖縄 2018 選出大会」を開催しました。このような協力をいただけるのも、ミス沖縄が観光産業振興に寄与する存在として認められているからだと自負していま



す。皆様からの期待に応えるべく、日々研鑽を怠らず感謝と精進を旨としてミス沖縄の役割を果たしてまいります。



ミス沖縄 2018 選出大会協賛品

本大会は沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハで開催され、63名の応募者の中から一次書類審査、二次面接を通過して選ばれた10名のファイナリストが、自己PRと特技を披露しミス沖縄としての資質を華やかに競いました。特別協賛企業の審査員による厳正なる審査の結果「ミス沖縄2018」の3名が選出されました。



ミス沖縄 2018 スカイブルー山城美希  
ミス沖縄 2018 コバルトブルー宮平かな  
ミス沖縄 2018 クリーングリーン 그레이シャス末吉古都子  
(※左から)

ミス沖縄選出大会は毎年多くの注目を集めており、本年はテレビ放映も決定しました。「OTV 年末特別番組」として12月30日(土)16:00～16:30に放映されます。2018年に活躍するミス沖縄の誕生の瞬間、ファイナリスト研修やミス沖縄2017の派遣の様子、コスチュームに込められ

る沖縄の自然や文化的背景など、日頃見られないミス沖縄の裏側に迫ったドキュメンタリーとなっております。本事業が人材育成であることをミス沖縄の成長する姿とミス沖縄OGの活躍を通してご覧いただけます。

### ミス沖縄研修



インターナショナルリゾートカレッジ研修

OCVBは、年間500時間以上にも及ぶミス沖縄研修を実施しミス沖縄の資質を磨いています。専修学校KBC学園や歴代ミス沖縄による厳しいビジネスマナーレッスンや心構え、語学等の座学を受け公式行事にも対応できる所作を学びます。



美ら島観光施設協会年間パスポート贈呈式

また、美ら島観光施設協会等の協力により県内観光施設を訪れその魅力を発信しています。各離島へも旅を重ね沖縄観光の奥深さを体験します。沖縄の豊かな自然を体感し、歴史や文化を体系的に学び、伝統組踊の鑑賞、首里織や紅型等の伝統工芸創作、表千家の茶道体験等、多彩な伝統文化にも触れ「うとぅいむちの精神」を学び身に付け

ます。沖縄の自然や文化に存分に触れることで、沖縄観光親善使節として感動や知識を自らの言葉で語ることできるミス沖縄へと成長します。



伝統組踊保存会 執心鐘入観賞



表千家流尚風会 茶道体験



アウトドアショップネオス SUP体験

ミス沖縄としての自覚、姿勢や所作等立ち居振る舞い、スピーチ力は多種多様な研修によって磨かれ、県やOCVBの展開する国内外での観光プロモーション、MICEやスポーツコンベンション誘致活動において、沖縄の魅力を広く国内外に伝える基礎力となります。

## ミス沖縄派遣

ミス沖縄は企業や団体からの派遣要請を受け、国内外で開催される観光関連イベント、誘客トップセールス、物産展、MICE 歓迎式、航空路線就航式、県公式行事に派遣されています。



総理大臣へのかりゆしウェア贈呈式



沖縄ナイトin東京



ジェットスター シンガポール沖縄定期便就航式典

ミス沖縄の沖縄観光PRスピーチやトップセールスにおける誘致活動には定評があり沖縄県のイメージアップに大きく貢献しています。観光地PRは勿論のこと、沖縄の伝統芸能、食の魅力、季節ごとに変わる自然の美しさ、方言等その場に



合わせて語ります。スピーチは自ら考え暗記しており、裏舞台での努力精進が表舞台のミス沖縄のパフォーマンスを支えています。



ゲンティンドリーム号那覇初寄港歓迎式

### ミス沖縄コスチューム

ミス沖縄のコスチュームは、県内デザイナーの山内カンナ氏がミス沖縄3名のイメージに合わせて毎年創作しています。



ミス沖縄 2017 秋冬衣装テーマ  
「Restart time」 海の青 草花の緑 太陽の光の恩恵を受け 心にゆとりを

沖縄の自然をモチーフに伝統工芸の紅型染を使用し、沖縄らしさを演出しています。出会う方々に沖縄の豊かな自然の美しさを感じていただけるよう、随所に創意工夫が施されどのような場所でもミス沖縄の存在を際立たせています。



ミス沖縄 2017 春夏衣装テーマ  
「琉宮〜りゅうぐう〜ものがたり」

### ミス沖縄公式 Facebook

ミス沖縄は公式 Facebook を通して、県内外の多くのミス沖縄ファンと繋がり、沖縄の観光や文化の情報を発信しています。今年は「ミス沖縄 2017 心ゆく旅」と題し、ミス沖縄とのんびり旅しているかのように、世界遺産や窯元を訪ねたり、離島旅、伝統工芸や文化体験を日々投稿しており、SNS を活用して沖縄ファンを増やす活動もしています。



ミス沖縄 2017 心ゆく旅

### 歴代ミス沖縄による人材育成研修

当財団では、昨年発足したミス沖縄 OG 会による新たな試みとして、「ミス沖縄人材育成研修」に取り組んでいます。研修や派遣で培ったミス沖縄ならではの美しい所作や心構え、歴代ミス沖縄の



経験や知識を生かし、県内若手の人材育成に貢献してまいります。



ミス沖縄人材育成研修「ビジネスマナー」



ミス沖縄人材育成研修「琉球・沖縄の心を学ぶ」



かりゆしグループ新人研修

内容は「ビジネスマナー」「スピーチ力」「琉球・沖縄の心を学ぶ」「うとういむちの心(おもてなしの心)」他で構成されており、人材育成の基本となる自らの誇りと自信を高め、プロフェッショナルな意識で業務に取り組めるようプログラムを構成しました。

ミス沖縄人材育成研修にご興味のある方はどうぞお問い合わせください。ご希望に合わせた研修内容を実施いたします。



県内各地の観光大使研修

### ミス沖縄派遣について

OCVB は各企業・団体からのミス沖縄派遣や人材育成研修の依頼を受け付けております。観光関連催事等への派遣や研修に関しては下記までお問い合わせください。

#### 【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー総務部 総務課 ミス沖縄事務局

TEL：098-859-6124

■ ミス沖縄公式 Facebook： <https://www.facebook.com/MissOkinawa3>

# HONG KONG

## アジア便り 香港 vol.114



レポーター  
上原 和久（琉球銀行）  
沖縄県香港事務所に出向中  
（副所長）

## 好調な小売売上高、 各種イベント

### はじめに

皆様こんにちは。沖縄県香港事務所の上原です。年末年始を控え慌ただしい日々をお過ごしのことと存じます。寒さも増してくる頃かと思いますので、季節柄ご自愛下さい。さて12月といえばクリスマスがありますが、家族や友人、はたまた自分へのクリスマスプレゼントに頭を悩まされているところでしょうか。香港ではクリスマスも一大イベント日として祝日となっており、その翌日（12月26日）も「ボクシングデー」という祝日となっております。

この「ボクシングデー」ですが、皆様ご存知でしょうか？スポーツのボクシングを思い浮かべる方もいらっしゃるのではないかと思います（実は私もそうでした）、表記は「Boxing Day」、Box＝箱（クリスマスプレゼント）、つまりクリスマスプレゼントを開ける日という意味だそうです。由来は諸説ありますが、クリスマス休日でも仕事をしないといけない使用人達に、ご主人様がねぎらいの意味を込め翌日は休日と決めました。その時に皆が家族と一緒に過ごせるようにと、箱入りのプレゼントを配ったことが始まりだと言われています。今年は土日の後にこの2日間の祝日があるため、香港では4連休となっている人も多く、この期間を利用して海外でクリスマスを過ごす方も多くいます。ち

なみに、香港以外にもイギリス連邦の国々や、カナダ、ノルウェー、スウェーデン等でも休日だそうです。

さて今回のアジア便りでは、香港の小売売上事情について、及び各種イベントについてレポート致します。

### 1. 香港の小売売上高の推移

香港政府統計処が発表した1月～9月の小売売上高は、前年同期比0.9%増加となっており、数量ベースでも同じく0.9%の増加と発表されました。

9月単月の数値でも小売売上高は前年同月比の5.6%増加、プラス成長は7カ月連続となり、前月から2.9ポイントの伸び率拡大は2015年2月以来、2年8カ月ぶりの成長率となります。

百貨店売上高は9.4%の伸びを示し、香港市民の消費が支える一般のスーパーマーケットの売上も2.6%増で前月より0.3ポイント拡大し、スーパー全体（香港には百貨店の中にもスーパーマーケットがある）では3.1%の増加となりました。

品目別では、金額の大きい宝飾品・時計・高級贈答品が14.7%増、旅行者に人気の医薬品・化粧品が12.7%増と、共に3カ月連続のプラス成長となりました。その他、食品・酒類・タバコは9.2%増加、衣類・靴類・関連製品は1.7%

増加でそれぞれ前月よりプラスへ転じました。一方で、耐久消費財は▲5.3%と品目別では唯一のマイナスとなっており、そのうちスマートフォンなどのエレクトロニクス機器を含む未分類が▲17.3%で耐久消費財の売上減少の一因となっておりま。

この成長率には中国本土を中心とする香港訪問客数の増加が押し上げの要因として挙げられ、足元の復調を背景として通年では4年ぶりのプラス成長になるとの見方が多く、香港政府も「消費者の楽観的な見方の広がりや観光産業の好転が伸びを支え、短期的には成長が続くだろう」と発表しております。香港の小売推移は訪港客数に左右され、特に中国大陸からの旅客数は大きな影響を及ぼしています。2017年

9月の訪港客数は463万人となり、前年同月比は4.8%の増加、うち中国大陸からの訪港客数は全体の77%にあたる357万人となり、こちらは前年同月比7.2%の伸びとなっております。2017年（1月～9月）通年でも、合計訪港客数は4,263万人で前期比2.2%の増加、うち中国大陸からの訪港客数は3,249万人で前期比2.5%増加となっていることや、ここ1年間の小売伸び率と訪港客数の推移からもその影響がうかがえるのではないのでしょうか。ただし、現状ではプラス成長の見方による明るい兆しがあっても、将来的な中国大陸からの訪港客数の変化や、その消費金額の推移、政策等による影響も懸念されることから、これらの動向には注視していく必要があります。

小売売上高の推移



小売伸び率と訪港客数伸び率の推移（※伸び率は前年同月比）

|              | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 4月  | 5月  | 6月   | 7月  | 8月   | 9月  |
|--------------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|-----|------|-----|
| 小売売上高 (億HKD) | 361  | 360  | 424  | 431  | 348  | 357  | 352 | 359 | 337  | 360 | 348  | 357 |
| 小売伸び率 (%)    | ▲2.9 | ▲5.4 | ▲2.9 | ▲1.0 | ▲5.8 | 3.0  | 0.1 | 0.4 | 0.1  | 4.0 | 2.7  | 5.6 |
| 訪港客数伸び率 (%)  | ▲2.4 | ▲2.1 | 5.4  | 4.8  | ▲2.7 | 8.8  | 1.9 | 3.0 | ▲1.9 | 2.4 | ▲1.2 | 4.8 |
| うち中国大陸 (%)   | ▲3.5 | ▲3.5 | 6.1  | 7.7  | ▲6.8 | 10.4 | 1.8 | 3.8 | ▲3.4 | 3.7 | ▲2.0 | 7.2 |

ちなみに11月は日系百貨店の「香港SOGO」では半年に一度の感謝祭として、約3週間ほど大規模なセールが開催されております。店外まで及ぶ行列や人で埋め尽くされた店内は圧巻で、中にはスーツケースを引いた中国大陸からの来港者と思われる人も多数目につきます。この光景だけを見れば今月の小売動向も順調に推移…といったところでしょうか。沖縄では味わえない景色や熱気に、ただただ驚きと戸惑いを感じつつ、買い物欲の少ない私は早々に店を後にしました。



人で埋め尽くされた店内は前に進むのも困難



## 2. 各種イベントについて

【沖縄ナイト in 香港 10月25日】

香港にて沖縄県関連の事業（観光関連、物産関連等）に携わっている香港の皆様へ感謝の気持ちとして、五つ星ホテルのカオルーンシャングリラホテルにて開催された第2回レセプションパーティーには、総勢300名余が参加し、県産品を使ったbuffetメニューや舞台演奏等を楽しんでいただき多に賑わいました。

最後はパーティーご来場の皆様と共にカチャーシー踊りで気分は最高潮！盛況のうちに幕を下ろしました。



【BtoB 商談会 in 香港 10月25日】

前述の沖縄ナイトと同日、同会場にてBtoB商談会も開催致しました。香港では数々の県産品が輸入され、観光だけでなく物産関連の繋がりも深いことから、こちらも昨年度に引き続き今年も同日での開催となりました。今年は沖縄県より15社のメーカーが参加し、約2時間の商談会に香港バイヤー72社114名の参加がありました。県産品への注目度、認知度は依然として高いものがあり、新しい商材についても非常に関心が高いと感じました。各メーカーには取引のある企業との取引深耕や、新たな企業との繋がりを図ることができ、今回の商談会をきっかけに沖縄県の既存進出メーカーの更なる販路拡大、また新規メーカーの香港進出に繋がるものと期待しております。



【香港ウエディングエキスポ 11月3日～5日】

香港コンベンションセンターにてウエディング関連事業社が集う見本市「香港ウエディングエキスポ」が開催されました。沖縄県でも毎年関連事業社と連携して出展しており、今年度はメーカー10社が参加し、3日間で商談176組、成約32組、仮予約13組の実績に結び付けました。沖縄は地理的優位性や、リゾートウエディングの魅力から海外ウエディングの候補地として、香港では高い人気を誇っており、また沖縄で挙式する外国人の半数は香港人となっております。今回成約された皆様には沖縄での挙式を思う存分楽しんでいただきたいと思います。



【ワイン&スピリッツ 11月9日～11日】

香港コンベンションセンターにてお酒関連を取り扱う代理店、メーカーが集う見本市「ワイン&スピリッツ」が開催されました。世界各国より、ワインやウイスキー、ビール、日本酒、焼酎等の酒類を中心に展示されており、また来場者はワイングラスを片手に各ブースを回ることが出来ます。当所はJETRO主催のジャパンパビリオンの一角にブースを出展し、香港で取

り扱われている泡盛の試飲を行いました。ストレートでの試飲の他、水割りやシークワサー割り等でも提供し、多くの来場者に泡盛の飲み方の数々を楽しんでいただきました。お酒のイベントらしく、来場者もお酒好きな方、お酒関連の仕事の方が多いことから、これまで行った同様な試飲イベントよりも反応が良く、中には早速会場でお買い求め希望の方もいらっしゃいました。取扱代理店や、販売店舗等の案内も同時にPRしたことから、今後取扱店舗の拡大や、販売向上に繋がることを期待したいものです。香港ではビールやワインが種類も多く値段も手頃なことから、よく飲まれております。焼酎や泡盛については、まだまだ取扱店舗も少なく、また飲み方も含めてあまりよく知らない部分も多いことから、このようなイベントでのPR活動を今後とも継続して泡盛の普及に繋げていきたいと思ひます。



## 最後に

11月～12月にかけて展示会や各種イベント等が盛り沢山となっております。特に香港だけでなく中国広州にてのイベントも控えていることから、また違った地域のイベント内容や、その反応についてもお届けできればと思ひます。

それでは最後は広東語のコーナーです。今月は各種施設の名称です。香港では大型テーマパークとしてディズニーランドが有名ですが、規模は東京ディズニーランドに比べるとかなり

コンパクトで待ち時間もそう長くありません。また、香港にはもう一つ、オーシャンパークという大型テーマパークがあることをご存知でしょうか。遊園地と水族館と動物園を合体させたようなこのテーマパークですが、規模はディズニーランドよりも大きく、多くの人で賑わいを見せております。パンダも見ることが出来ますので、家族旅行等で香港を訪れる際にはオススメのスポットかもしれません。ちなみに現地の人もディズニーランドよりこのオーシャンパークの方が好きと回答する人の方が多い印象です。

| 日本語 | 広東語 | 読み方     |
|-----|-----|---------|
| 博物館 | 博物館 | ポツマッグン  |
| 美術館 | 美術館 | メイスエッグン |
| 遊園地 | 遊樂場 | ヤウロツツョン |
| 動物園 | 動物園 | ドンマツユン  |
| 植物園 | 植物園 | ビツマツユン  |
| 水族館 | 水族館 | スエイゾッグン |
| 寺院  | 寺   | ズイ      |
| 廟   | 廟   | ミウ      |
| 公園  | 公園  | ゴンユン    |
| 海   | 海   | ホイ      |
| 海岸  | 海岸  | ホイゴン    |
| 山   | 山   | サーン     |
| 川   | 河   | ホ       |
| 森   | 森林  | サンラン    |
| 祭   | 節   | ズイッ     |
| 映画館 | 戲院  | ヘイユン    |
| 劇場  | 劇場  | ケツツョン   |
| 島   | 島   | ドウ      |

当所では、日頃から県内企業・個人の皆様から香港に関する多くのご質問を頂いております。香港に関することにつきまして、ぜひ是非お気軽にお問い合わせください。

再見！

沖縄県香港事務所

Tel：(852) 2968-1006

Fax：(852) 2968-1003

E-mail：okinawaopg@biznetvigator.com

# ATMで宝くじ はじめました



ATMでカンタン購入！

当せん金も自動振込！

  
ロトセブン

  
ロトシックス

  
ミニロト

  
ナンバーズ フォー

  
ナンバーズ スリー

詳しくは、**りゅうぎん**窓口またはHPまで

平成29年8月29日現在



## 入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を実践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

### サービスの ご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供  
ビジネスクラブ会員企業トップと弊社役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

#### 【最近の実績】

- H28.11.9 「老舗企業の経営革新」
- H29.2.22 トップセミナー「経営戦略としてのワークライフバランス」
- H29.6.20 「業績向上！営業リーダーの条件と役割」
- H29.8.17 「インバウンドビジネス成功戦略」

#### ■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

#### 【内容例】

- ・「仕事が速い人」の時間の使い方
- ・実践「営業トーク」集
- ・好かれる人の「気づかい」
- ・ビジネスモデルをつくった人々

#### ■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。  
※1社につき年1回ご利用になれます。

#### ■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。  
※別途受講料が必要になります。

#### 【著名な講師例】

- ・第1期 酒巻 久 キヤノン電子株式会社社長
- ・第2期 鈴木 喬 エステー株式会社会長
- ・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険株式会社CEO
- ・第4期 宗次 徳二 株式会社番屋 創業者特別顧問
- ・第5期 高田 明 株式会社A and Live 代表取締役
- ・第6期 橋本 真由美 フックオフコーポレーション株式会社取締役相談役
- ・第7期 小島 英揮 Still Day One(同)代表社員パラレルマーケター・エバンジェリスト/CMC\_Meetup発起人

#### ■「りゅうぎんビジネスフラッシュ」定期配信

税務・会計・法務・人事・労務など、経営のお役に立つ情報レターを毎週FAX配信いたします。

#### 【内容例】

- ・「残業規制時代」に企業がすること
- ・人事トラブルを防ぐ実務対応Q & A
- ・情報を引き出す「質問力」向上のポイント
- ・次世代の経営リーダーを育てるには

### その他の サービス

#### ■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品（ベストサポーター、順風満帆）について、融資金利の優遇を実施しております<sup>1</sup>。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ  
入会申込方法  
年会費 20,000円

- 1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。
- 2 入会金は不要です。
- 3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

### お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行法人事業部内)

**TEL:098-860-3817** (担当:照屋、真栄城)までお願いいたします。

<sup>1</sup> 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

## 沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について 2017 日米亜医療機器イノベーションフォーラム沖縄の開催

世界の医療機器市場は 2019 年に約 50 兆円に到達することが見込まれています（うちアジア及び日本は約 24% 相当）。しかし日本では約 8 千億円（2015 年実績）の輸入超過となり、我が国が得意とするものづくり技術が十分に活かされていない課題があります。その一方で、米国では IPO や M & A による資本循環、いわゆるエコシステムにより、魅力的な医療機器を開発するベンチャー企業を育成する仕組みが確立しています。

この状況を踏まえ、日米に加え、医療機器事業者 300 社以上が集積する台湾との広域連携を推進し、沖縄におけるアジア市場との地理的近接性や、税制優遇等の投資環境を十分に活かすことで、沖縄を拠点としたアジア市場開拓に取り組むことが期待できます。そこで、当局、沖縄県、琉球大学、万国医療津梁協議会で構成する実行委員会を発足し、11 月 7 日から 3 日間、フォーラム及び関連イベントを開催しました。

### 1. 2017 日米亜医療機器イノベーションフォーラム沖縄

フォーラム（11 月 8 日、於：沖縄科学技術大学院大学）では、広域連携の具体的な協働の枠組みを構築するため、各国における医療の現状や課題、法整備や投資環境、ベンチャー創出環境等について議論を行いました。日米及び台湾の医療機関や医療機器事業者、ものづくり企業、投資家等、約 200 人が参加しました。



フォーラムの様子

### 2. バイオデザインダイアログ

ダイアログ（11 月 7 日、於：琉球大学おきなわクリニカルシミュレーションセンター）では、バイオデザインプログラム（スタンフォード大学が開発した医療機器の人材育成システム、）に取り組む米国シリコンバレーの医療機器ベンチャー企業、スタンフォード大学関係者等と、琉球大学医学部及び工学部の学生や、企業等 18 人が参加し、意見交換を行いました。

### 3. PITCH < Medtech Asia >

PITCH（11 月 9 日、於：カフーリゾート）では、アジア市場開拓等に向けたパートナーとの出会いの場を提供するため、日米及び台湾の潜在的な医療機器開発技術や、イノベーション環境、製品アイデア等をショートプレゼン方式で計 26 団体が発表し、約 100 人の参加者と活発な意見交換により、大いに盛り上がりました。



PITCH < Medtech Asia >の様子

なお、琉球大学では今年度、バイオデザインプログラムを基に、沖縄型医工連携人材育成プログラム研修を実施し、沖縄の医療機器開発の人材育成に取り組んでいます。今後は当局としても、日米及び台湾の関係機関と広域連携を深化させ、ビジネスモデル構築、アジア市場開拓及び人材育成等のスタートアップ環境整備等、沖縄を医療機器開発の拠点化に向けた取組を推進します。



内閣府沖縄総合事務局  
経済産業部

■本記事に関するお問い合わせについて  
内閣府沖縄総合事務局経済産業部企画振興課

**TEL: 098-866-1727** (担当: 新崎、仲村)

<http://ogb.go.jp/keisan/index.html>

クレジットカードじゃないから、誰でも使えて安心。

りゅうぎん

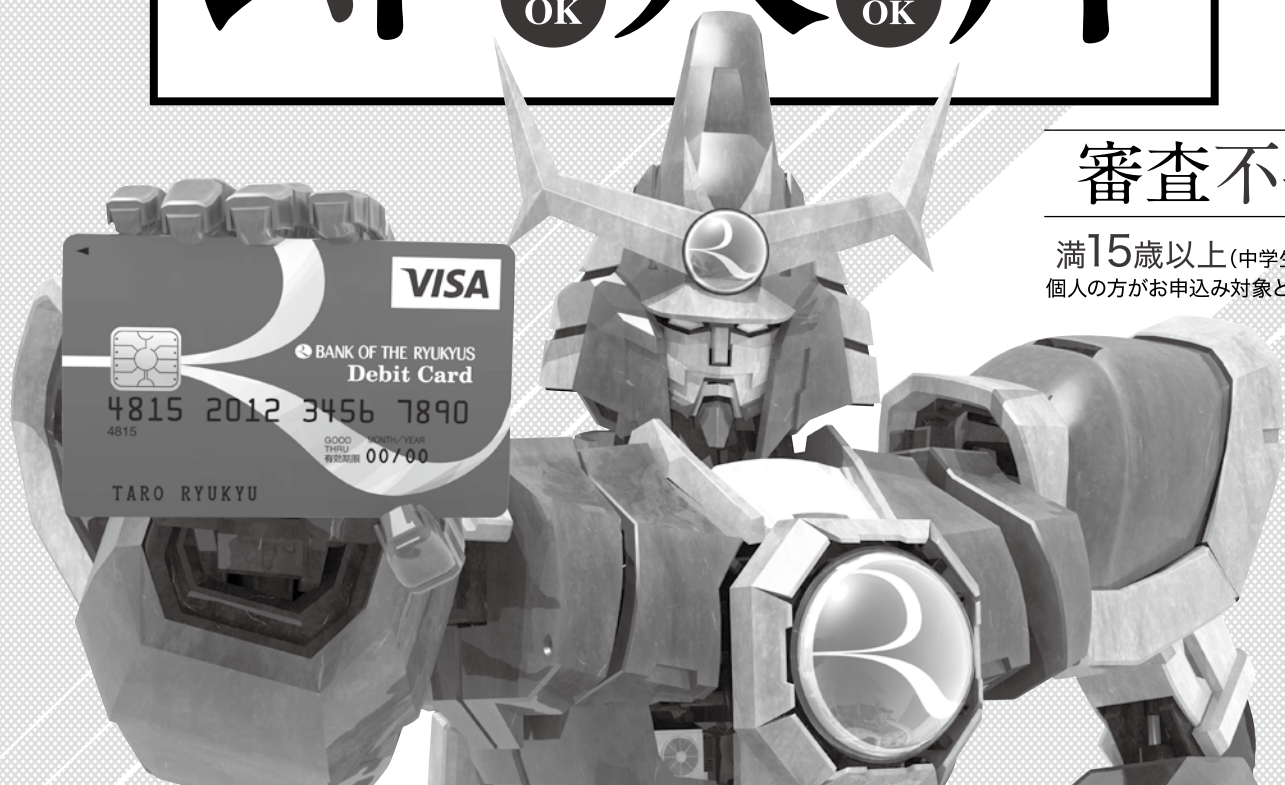
# Visaデビットカード

# 現金いらずで 即決済

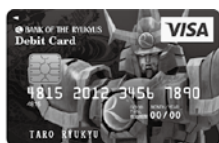
24h OK 365days OK

## 審査不要

満15歳以上(中学生除く)の  
個人の方がお申込み対象となります。



スゴイぞ、デビット。



《サービスについて》【ご利用対象者】契約時の年齢が満15歳以上(中学生を除く)の個人で、当行に普通預金口座をお持ちであること 【年会費】500円(税別)※初年度無料。2年目以降は、前年度のご利用実績が5万円以上であれば無料【ご利用シーン】●ショッピング:国内外約3,800万カ所のVisa加盟店(インターネット取引含む) ●海外ATM:海外のVisaマーク、PLUSマークがあるATMでの現地通貨のお引出し ※利用手数料:1回につき200円(税別)、その他為替手数料:利用金額×3.0% 【ご利用時間】24時間365日 【ご利用限度額】普通預金残高または次のご利用限度額のいずれか低い額。(1日あたりのご利用限度額(初期設定値))国内・海外ショッピング、海外ATM引出し…各50万円

詳しくはりゅうぎん窓口までお問い合わせください。

 **琉球銀行**  
平成28年1月4日現在



# 県内大型プロジェクトの動向

事業名：琉球海運総合物流センター建設工事

種別：公共 (民間) 3セク

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関係地域    | うるま市、糸満市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事業主体    | 主体名：琉球海運株式会社<br>所在地：沖縄県那覇市西1-24-11 電話：098-868-8161                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 事業目的    | 沖縄県の貨物量の増加に対応する総合物流センターの新設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事業期間    | 平成29年10月～平成31年1月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事業規模    | 延床面積28,119㎡（総合物流センター2棟）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業費     | 約60億円（総合物流センター2棟）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 事業概要    | <p>■RKK中城総合物流センター<br/>所在地：うるま市勝連南風原5194-35<br/>敷地面積：44,018㎡<br/>建築面積：9,830㎡<br/>延床面積：17,653㎡<br/>構造：鉄骨造2階建<br/>内容：荷捌き・仕分け・配送などの通過型流通センター（TC）、保管機能を持つ在庫型物流センター（DC）、自動倉庫（常温・冷凍）、保税倉庫（計画）などの機能を保有する3温度帯（常温/冷蔵+5℃/冷凍-25℃）物流センター<br/>1階／常温倉庫、常温自動倉庫、冷蔵倉庫、冷凍自動倉庫、仕分けソーターなど<br/>2階／常温倉庫、常温自動倉庫（吹抜）、冷凍自動倉庫（吹抜）など<br/>事業費：約36億円</p> <p>■RKK糸満総合物流センター<br/>所在地：糸満市西崎4-18-2<br/>敷地面積：14,670㎡<br/>建築面積：6,053㎡<br/>延床面積：10,466㎡<br/>構造：鉄骨造2階建<br/>内容：TC・DC機能を有する3温度帯（常温/冷蔵+5℃/冷凍-25℃）物流センター<br/>1階／常温倉庫、冷蔵倉庫、冷凍倉庫、雑誌仕分けソーターなど<br/>2階／常温倉庫など<br/>事業費：約24億円</p> |
| 経緯      | <p>平成29年2月 基本構想・基本計画プロジェクト会議開始</p> <p>平成29年6月 RKK中城総合物流センター基本設計完了。実施設計着手</p> <p>平成29年7月 RKK糸満総合物流センター基本設計完了。実施設計着手</p> <p>平成29年10月 RKK中城総合物流センター工事着手</p> <p>平成29年11月 RKK糸満総合物流センター工事着手</p> <p>平成30年12月 RKK中城総合物流センター稼働予定</p> <p>平成31年1月 RKK糸満総合物流センター稼働予定</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 現況及び見通し | <p>・琉球海運の輸送実績（平成29年度3月期）は、定期航路は292万トン、不定期航路が20万トンの合計312万トンであった。</p> <p>・同社の貨物輸送量は近年増加傾向にあり、県内の経済拡大や人口増、さらには那覇空港の第二滑走路稼働による入域観光客数増により今後とも貨物輸送量は拡大することが見込まれる。</p> <p>・RKK中城総合物流センターは、うるま市の国際物流拠点産業集積地域内に新設する総合物流センターである。大規模な土地を確保し県内最大となる施設を整備することで那覇港新港埠頭近郊の荷捌き場不足を解消し、荷主の高度な要求に応える。24時間オペレーションを想定し、同社の船舶が母港とする那覇港新港埠頭で荷揚げされた荷物を夜間に運び、自動化された施設で処理し、保管・もしくは配達先へ届ける。</p>                                                                                                                                                                            |

|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>現況及び見通し<br/>( 続 き )</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・RKK糸満総合物流センターは、浦添市の老朽化した既存施設の代替と規模拡大に対応する総合物流センターである。3温度帯の倉庫を有し、県外からの飲食品や衣料品などの積荷の管理と、県内各地の加工品や青果物の維持管理を担う。</li> <li>・同社は、トレーラーが積荷ごと自走で乗り込むRCORO船の新造船を今年8月(しゅれいⅡ、1万1,687トン)と11月(にらいかないⅡ、1万1,687トン)に相次いで就航させ、東京・大阪と那覇間の輸送能力を約4割増大させた。</li> <li>・同社は、物流センター整備により、同社グループ各企業が連携して海上輸送・陸送・倉庫管理などの一貫した総合物流サービス体制を実現し、コスト圧縮や精度といったサービス品質を向上させ、顧客である積荷企業の高まる要求に応えていく。</li> </ul> |
| <p>進捗状況</p>                | <p>両施設ともに建築工事が進捗中である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>熟 度</p>                 | <p><input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input checked="" type="checkbox"/> 工事段階 <input type="checkbox"/> 開業・供用段階</p>                                                                                                                                                                                                                                                                     |

RKK中城総合物流センター完成イメージ



RKK糸満総合物流センター完成イメージ



(完成イメージは琉球海運株式会社提供)

## ●りゅうぎん調査● 県 内 の



### 景気は、拡大の動きが強まる

消費関連では、スーパーが前年を上回る

観光関連では、入域観光客数が前年を上回る

10月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は外国人観光客による消費が好調だったことや催事効果などから前年を上回り、スーパーは食料品や化粧品が好調だったことから前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は軽自動車で自家用車需要の持ち直しなどにより前年を上回り、電気製品卸売はBDレコーダーやエアコンが伸長したことから前年を上回った。

建設関連では、公共工事は国、県、市町村は減少したことから前年を下回った。建築着工床面積（9月）は居住用、非居住用ともに減少したことから前年を下回り、新設住宅着工戸数（9月）は持家、貸家が減少したことから前年を下回った。建設受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから前年を上回った。

観光関連では、入域観光客数は61カ月連続で前年を上回った。外国客は前年を上回ったが、国内客は前年を下回った。主要ホテルは、稼働率、売上高は前年を下回った。10月は台風21号、台風22号がいずれも週末に大きな影響を与えたことから、航空便の欠航が相次ぎ、観光関連は伸びが鈍化した。

総じてみると、消費関連は好調に推移しており、観光関連の鈍化は台風の影響による一時的な動きとみられること、建設関連は概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。



## 消費関連

百貨店売上高は、外国人観光客による消費が好調で化粧品を含む家庭用品・その他が伸長したことや、催事効果で身の回り品が伸長したことなどから3カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、食料品は精肉や冷凍食品などが好調だったことや、住居関連も化粧品や家電などが好調だったことから、全店ベースは2カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、軽自動車の自家用車需要の持ち直しなどにより3カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売額は、ＢＤレコーダーやエアコンが伸長したことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、高い消費マインドや外国人観光客の増加などから引続き好調を維持するとみられる。

## 建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は増加したが、国、県、市町村は減少したことから、2カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積（9月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから4カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（9月）は、分譲は増加したが、持家、貸家は減少したことから3カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメントは前年を上回り、生コンは民間工事向け出荷の減少などにより前年を下回った。鋼材は受注工事の進捗に動きがみられることなどから前年を上回り、木材は住宅関連工事向け出荷の減少などから前年を下回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

## 観光関連

入域観光客数は、61カ月連続で前年を上回った。国内客は19カ月ぶりに前年を下回り、外国客は8カ月連続で前年を上回った。外国客は、空路利用客、海路利用客ともに増加した。方面別に寄与度でみると台湾、中国本土、韓国、香港は増加した。

県内主要ホテル（速報値）は、稼働率、売上高は前年を下回り、宿泊収入は前年を上回った。主要観光施設入場者数は2カ月連続で前年を下回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに5カ月ぶりに前年を下回った。10月は台風21号、22号の影響を大きく受けた形となった。

先行きは、アジア方面からの外国客の旅行需要は根強いことや、航空路線の拡充などから、好調に推移するものとみられる。

## 雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比24.2%増となり2カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業などで増加し、情報通信業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は1.14倍と、前月より0.06ポイント上昇した。完全失業率（季調値）は4.0%と前月より0.6%ポイント悪化した。

消費者物価指数（総合）は、光熱・水道や交通・通信などの上昇により、前年同月比0.3%増と13カ月連続で前年を上回った。

企業倒産は、件数が4件で前年同月を2件上回った。負債総額は3億700万円で前年同月比13.7%の増加だった。

# 2017.10

りゅうぎん調査

増減率(%)

|                                                                                                 | 前年同月比                       | 前年同期比<br>( 2017.8－2017.10 ) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|  <b>消費関連</b>   |                             |                             |
| (1) 百貨店(金額)                                                                                     | 2.7                         | 6.2                         |
| (2) スーパー(既存店)(金額)                                                                               | 1.9                         | 2.8                         |
| (3) スーパー(全店)(金額)                                                                                | 2.7                         | 4.1                         |
| (4) 新車販売(台数)                                                                                    | 1.4                         | 6.8                         |
| (5) 電気製品卸売(金額)                                                                                  | 3.7                         | 4.5                         |
|  <b>建設関連</b>   |                             |                             |
| (1) 公共工事請負金額(金額)                                                                                | ▲ 23.5                      | ▲ 6.6                       |
| (2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )                                                                    | (9月) ▲ 28.0                 | (7-9月) 60.4                 |
| (3) 新設住宅着工戸数(戸)                                                                                 | (9月) ▲ 29.2                 | (7-9月) 7.7                  |
| (4) 建設受注額(金額)                                                                                   | 61.3                        | ▲ 12.4                      |
| (5) セメント(トン数)                                                                                   | 13.1                        | 17.0                        |
| (6) 生コン(m <sup>3</sup> )                                                                        | ▲ 1.1                       | 7.8                         |
| (7) 鋼材(金額)                                                                                      | 23.7                        | 29.3                        |
| (8) 木材(金額)                                                                                      | ▲ 3.1                       | 6.4                         |
|  <b>観光関連</b> |                             |                             |
| (1) 入域観光客数(人数)                                                                                  | 4.1                         | 6.1                         |
| うち外国客数(人数)                                                                                      | 17.7                        | 17.2                        |
| (2) 県内主要ホテル稼働率                                                                                  | (前年同月差) P▲1.5<br>(実数) P83.6 | (前年同期差) P▲1.4<br>(実数) P87.1 |
| (3) "売上高(金額)                                                                                    | P▲3.2                       | P▲2.6                       |
| (4) 観光施設入場者数(人数)                                                                                | ▲ 3.2                       | ▲ 0.2                       |
| (5) ゴルフ場入場者数(人数)                                                                                | ▲ 0.6                       | 2.2                         |
| (6) "売上高(金額)                                                                                    | ▲ 0.8                       | 0.6                         |
|  <b>その他</b>  |                             |                             |
| (1) 県内新規求人数(人数)                                                                                 | 24.2                        | 9.5                         |
| (2) 有効求人倍率(季調値)                                                                                 | (実数) 1.14                   | (実数) 1.11                   |
| (3) 消費者物価指数(総合)                                                                                 | 0.3                         | 0.6                         |
| (4) 企業倒産件数(件数)                                                                                  | (前年同月差) 2                   | (前年同期差) ▲ 2                 |
| (5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)                                                                            | (9月) ▲ 0.1                  | (7-9月) ▲ 0.9                |

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。  
県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。  
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

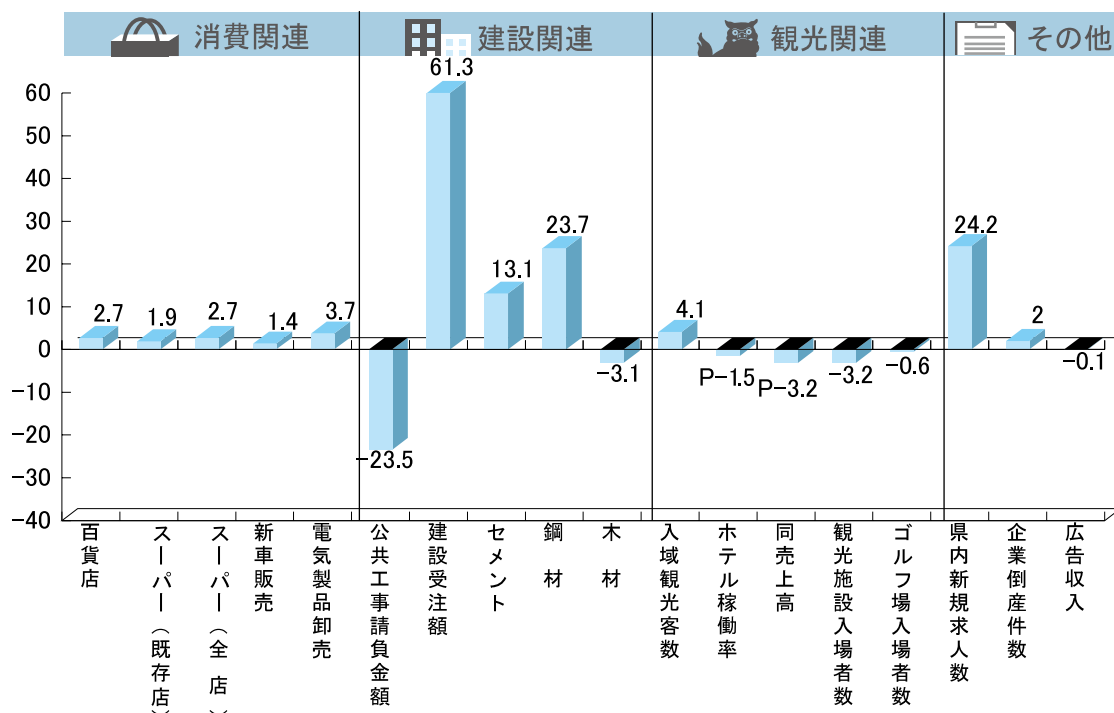
(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

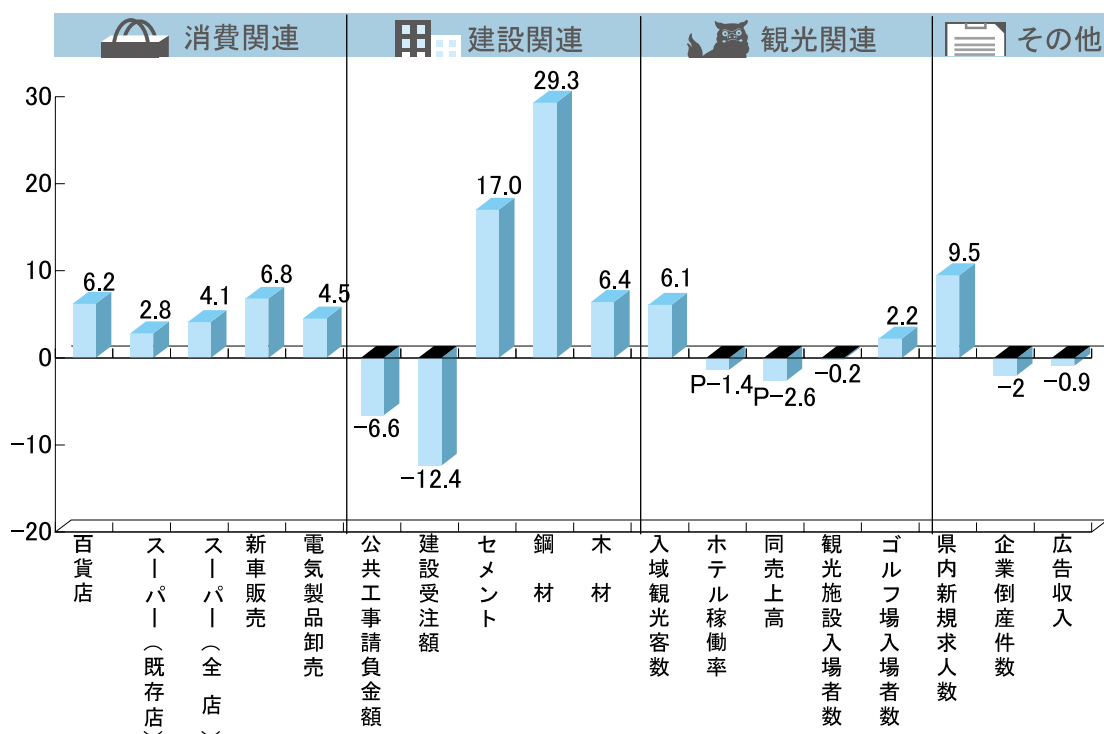
(注6) 建設受注額は、2017年8月より調査先を20社から19社とした。

# 項目別グラフ 単月 2017.10



(注) 広告収入は17年9月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

# 項目別グラフ 3カ月 2017.8~2017.10



(注) 広告収入は17年7月~17年9月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。





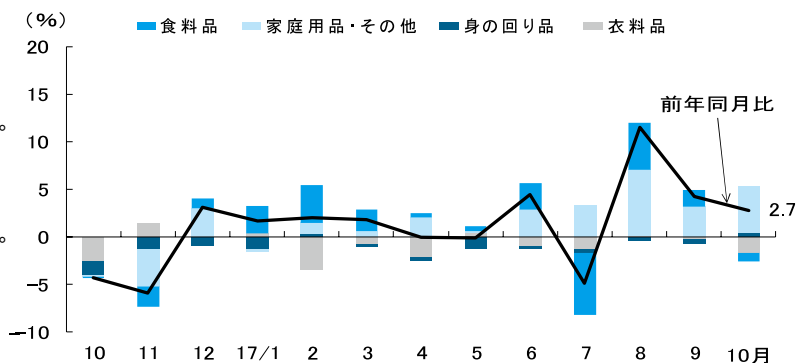
# 消費関連

## ① 百貨店売上高（前年同月比）

※棒グラフは品目別寄与度

### 3カ月連続で増加

- 百貨店売上高は、前年同月比2.7%増と3カ月連続で前年を上回った。食料品は2週連続の台風接近で品揃えに影響が出たことなどから減少し、衣料品も婦人服の動きが鈍かったことなどから減少した。家庭用品・その他は外国人観光客による消費が好調で化粧品が伸長したことなどから増加し、身の回り品は催事効果で婦人雑貨が伸長したことなどから増加した。
- 品目別にみると、家庭用品・その他（同13.5%増）、身の回り品（同5.2%増）は増加したが、衣料品（同4.5%減）、食料品（同4.4%減）は減少した。

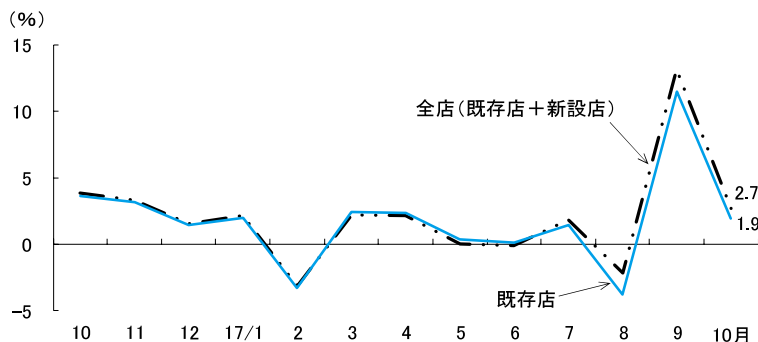


(注) 2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。  
出所: りゅうぎん総合研究所

## ② スーパー売上高（前年同月比）

### 全店ベースは2カ月連続で増加

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比1.9%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、精肉や冷凍食品などが好調だったほか、前年に台風で休業した店舗があった反動などから同2.4%増となった。衣料品は、秋物の伸長や販促効果などから同0.4%増となった。住居関連は、化粧品や家電が好調だったことなどから同0.5%増となった。
- 全店ベースでは2.7%増と2カ月連続で前年を上回った。



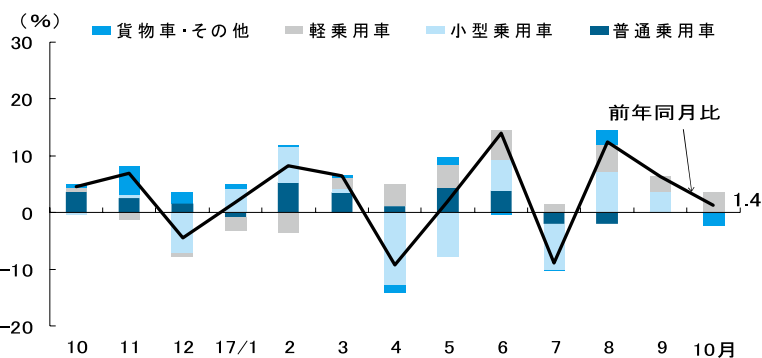
出所: りゅうぎん総合研究所

## ③ 新車販売台数（前年同月比）

※棒グラフは車種別寄与度

### 3カ月連続で増加

- 新車販売台数は3,137台となり、前年同月比1.4%増と3カ月連続で前年を上回った。普通乗用車は、レンタカー需要の減少などから前年を下回った。軽乗用車は、自家用車需要の持ち直しなどにより前年を上回った。貨物車・その他は、軽貨物車などが減少した。
- 普通自動車(登録車)は1,324台(同2.6%減)で、うち普通乗用車は494台(同0.6%減)、小型乗用車は630台(同0.5%増)であった。軽自動車(届出車)は1,813台(同4.5%増)で、うち軽乗用車1,494台(同7.8%増)であった。



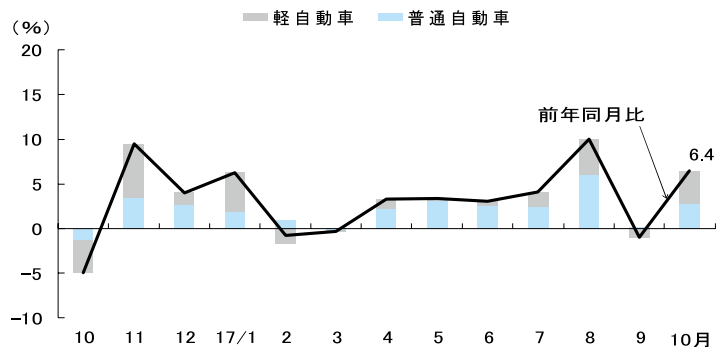
出所: 沖縄県自動車販売協会

#### ④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

##### 2カ月ぶりに増加

- ・中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万7,844台で前年同月比6.4%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は7,108台（同6.9%増）、軽自動車は1万736台（同6.1%増）となった。



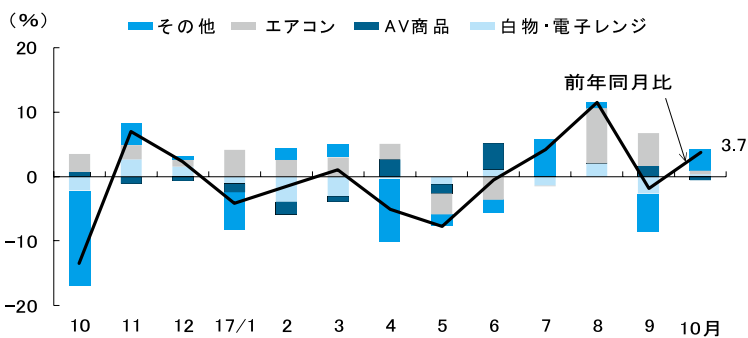
出所：沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

#### ⑤ 電気製品卸売販売額（前年同月比）

※棒グラフは品目別寄与度

##### 2カ月ぶりに増加

- ・電気製品卸売販売額は、BDレコーダーやエアコンが販促効果などで伸長し、その他では業務用製品が伸長したことなどから、前年同月比3.7%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同42.0%増、テレビが同18.8%減、白物では洗濯機が同3.1%増、冷蔵庫が同1.2%減、エアコンが同5.0%増、その他は同6.1%増となった。



出所：りゅうぎん総合研究所

消費  
関  
連

建  
設  
関  
連

観  
光  
関  
連

そ  
の  
他



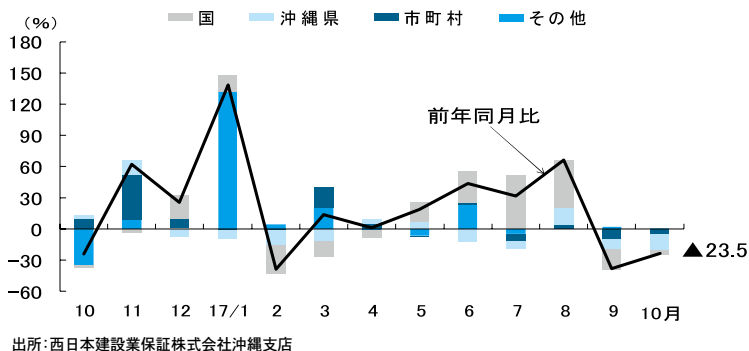
# 建設関連

## ① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

### 2カ月連続で減少

- ・公共工事請負金額は、280億7,300万円で、独立行政法人等・その他は増加したが、国、県、市町村は減少したことから、前年同月比23.5%減となり、2カ月連続で前年を下回った。
- ・発注者別では、国(同17.5%減)、県(同52.4%減)、市町村(同11.0%減)は減少し、独立行政法人等・その他(同69.0%増)は増加した。
- ・大型工事としては、平成27年度牧港高架橋上部工(P4～P6)工事、那覇空港滑走路増設アンダーパス外1件工事などがあった。

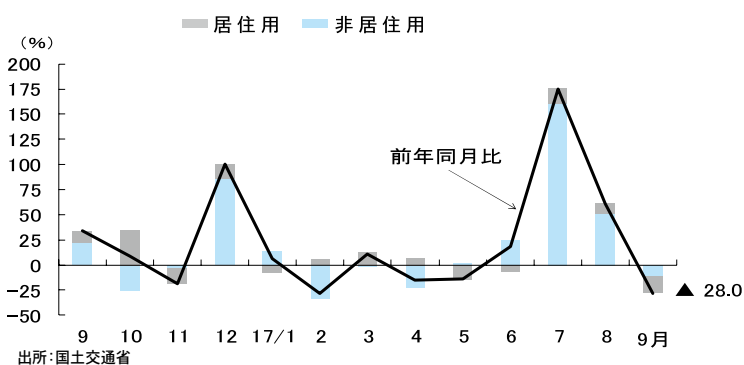


## ② 建築着工床面積 (前年同月比)

※棒グラフは用途別寄与度

### 4カ月ぶりに減少

- ・建築着工床面積(9月)は15万3,254㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから、前年同月比28.0%減と4カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同29.3%減、非居住用は同26.3%減となった。
- ・建設着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用が減少した。非居住用では、運輸業用は増加したが、卸売・小売業用、情報通信業用などが減少した。

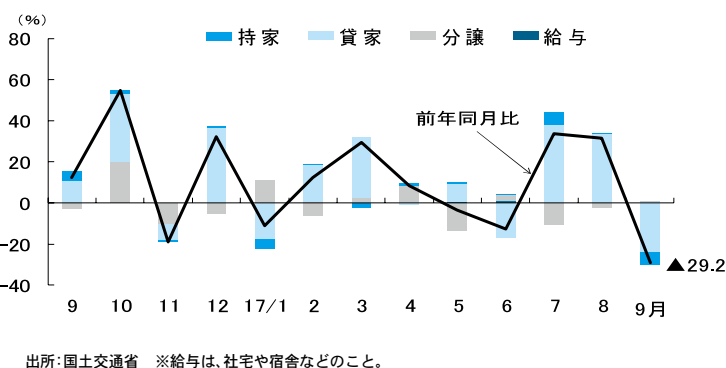


## ③ 新設住宅着工戸数 (前年同月比)

※棒グラフは利用関係別寄与度

### 3カ月ぶりに減少

- ・新設住宅着工戸数(9月)は1,213戸となり、分譲は増加したが、持家、貸家は減少し、給与は全減となったことから、前年同月比29.2%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・利用関係別では、持家(242戸)が同31.8%減、貸家(873戸)が同31.7%減と減少し、給与(0戸)が全減となり、分譲(98戸)が同22.5%増と増加した。



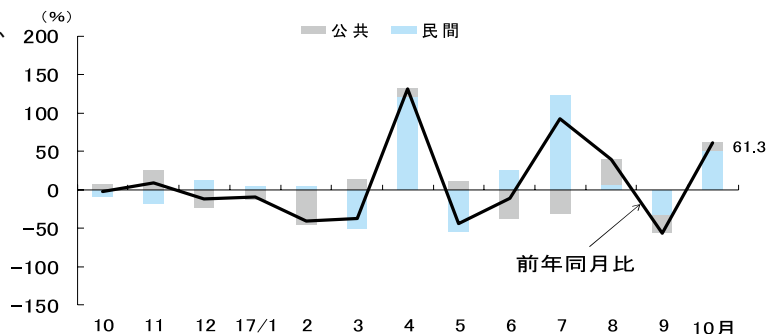


#### ④ 建設受注額（前年同月比）

※棒グラフは発注者別寄与度

##### 2カ月ぶりに増加

- 建設受注額（調査先建設会社：19社）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比61.3%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、公共工事（同20.2%増）は2カ月ぶりに増加し、民間工事（同101.3%増）は2カ月ぶりに増加した。

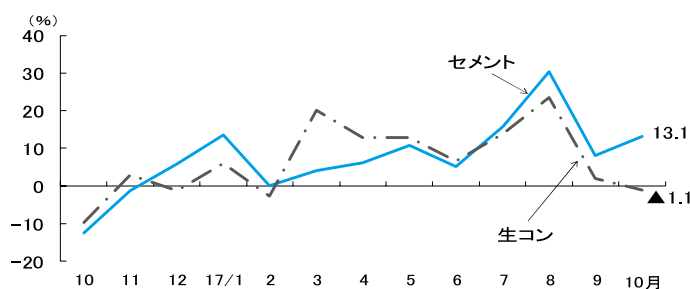


出所：りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ セメント・生コン（前年同月比）

##### セメントは11カ月連続で増加、生コンは8カ月ぶりに減少

- セメント出荷量は8万8,410トンとなり、前年同月比13.1%増と11カ月連続で前年を上回った。
- 生コン出荷量は14万3,488m<sup>3</sup>で同1.1%減となり、民間工事向け出荷の減少などから8カ月ぶりに前年を下回った。
- 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公営住宅工事向け出荷などが増加し、学校関連工事向け出荷などが減少した。民間工事では、宿泊施設工事向け出荷などが増加し、分譲マンション工事向け出荷などが減少した。

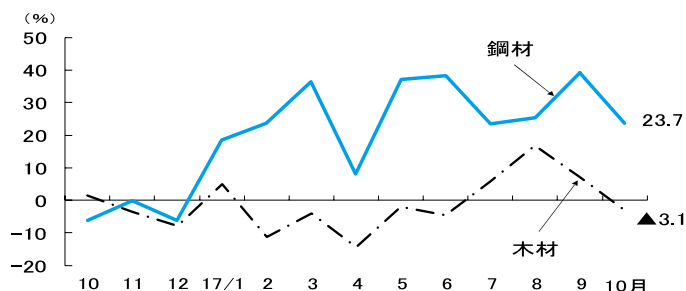


出所：りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 鋼材・木材（前年同月比）

##### 鋼材は10カ月連続で増加、木材は4カ月ぶりに減少

- 鋼材売上高は、受注工事の進捗に動きがみられることから前年同月比23.7%増と10カ月連続で前年を上回った。
- 木材売上高は、住宅関連工事向け出荷の減少などから同3.1%減と4カ月ぶりに前年を下回った。



出所：りゅうぎん総合研究所

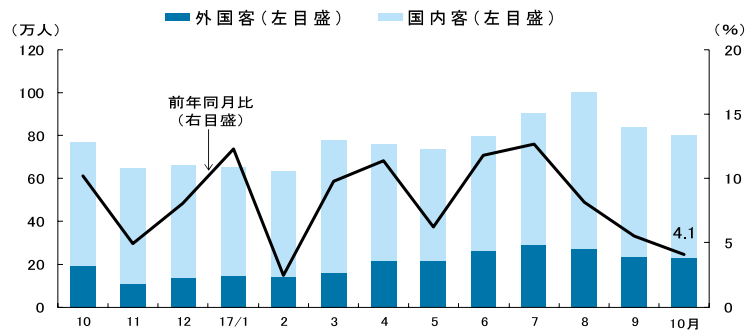


# 観光関連

## ① 入域観光客数(実数、前年同月比)

### 10月の過去最高更新、 単月の過去最高を48カ月連続更新

- ・入域観光客数は、前年同月比4.1%増の79万9,300人と、61カ月連続で前年を上回った。国内客は減少し、外国客は増加した。国内客は、同0.5%減の57万100人となり19カ月ぶりに前年を下回った。
- ・路線別では、空路は70万8,100人(同2.1%増)と61カ月連続で前年を上回った。海路は大型クルーズ船の寄港により9万1,200人(同23.1%増)と5カ月連続で前年を上回った。

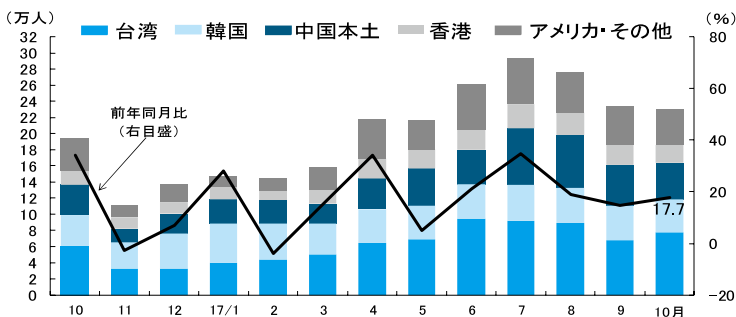


出所:沖縄県観光政策課

## ② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

### 8カ月連続で増加

- ・入域観光客数(外国客)は、前年同月比17.7%増の22万9,200人となり、8カ月連続で前年を上回った。空路利用客は航空路線の拡充で前年を上回り、海路利用客は寄港回数増加により5カ月連続で前年を上回った。
- ・国籍別では、台湾7万7,400人(同26.3%増)、中国本土4万5,400人(同19.5%増)、韓国4万1,300人(10.4%増)、香港2万2,200人(同30.6%増)、アメリカ・その他4万2,900人(同4.6%増)であった。

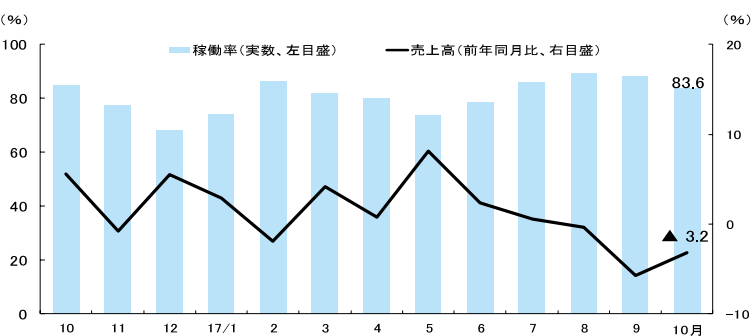


出所:沖縄県観光政策課

## ③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

### 稼働率は3カ月連続で低下、 売上高は3カ月連続で減少

- ・主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は83.6%となり、前年同月比1.5ポイント低下し3カ月連続で前年を下回った。売上高は同3.2%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル(速報値)は、客室稼働率は81.3%と同1.5ポイント低下し2カ月連続で前年を下回り、売上高は同5.6%減と2カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は84.9%と同1.5ポイント低下して3カ月連続で前年を下回り、売上高は同2.2%減と3カ月連続で前年を下回った。



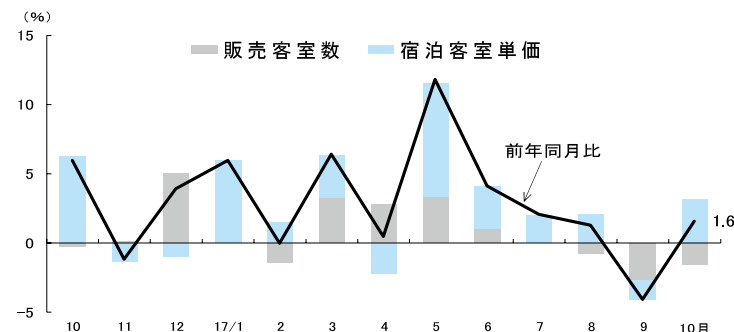
出所:りゅうぎん総合研究所

#### ④ 主要ホテル宿泊収入（前年同月比）

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

##### 2カ月ぶりに増加

- ・主要ホテル売上高のうち宿泊収入（速報値）は、販売客室数（数量要因）は減少、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比1.6%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・那覇市内ホテル（速報値）は、販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同3.6%減と3カ月ぶりに前年を下回った。リゾート型ホテルは、販売客室数は減少、宿泊客室単価は上昇し、同3.4%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

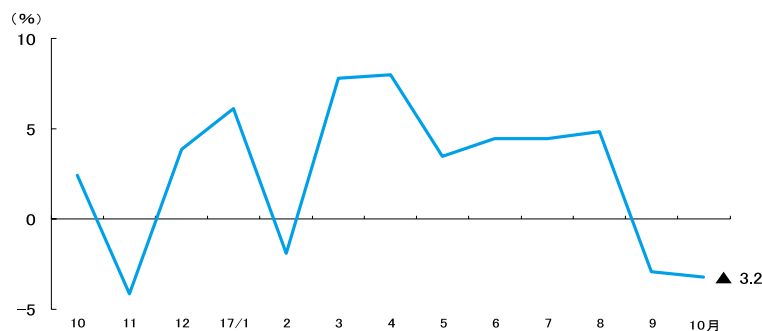


出所：りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ 主要観光施設の入場者数（前年同月比）

##### 2カ月連続で減少

- ・主要観光施設の入場者数は、前年同月比3.2%減となり、2カ月連続で前年を下回った。



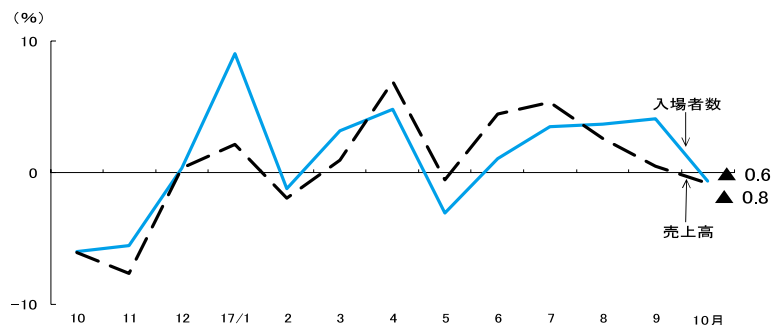
出所：りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高（前年同月比）

##### 入場者数、売上高ともに

##### 5カ月ぶりに減少

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比0.6%減と5カ月ぶりに前年を下回った。県内客は5カ月ぶりに前年を下回り、県外客は8カ月連続で前年を上回った。
- ・売上高は同0.8%減と5カ月ぶりに前年を下回った。



出所：りゅうぎん総合研究所（注）調査先は8施設（うち県外客については6施設）からなる。



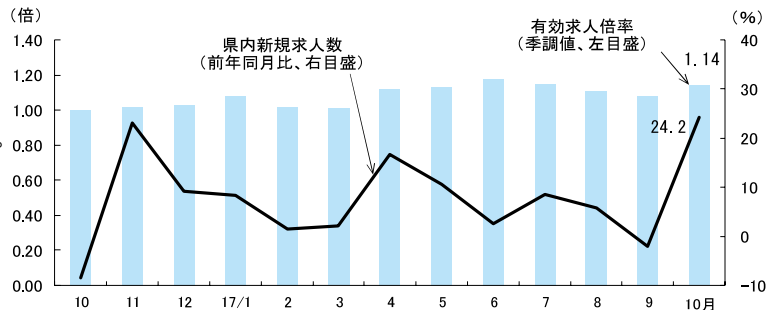


# 雇用関連・その他

## ① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

### 新規求人数は増加、有効求人倍率(季調値)は上昇

- ・新規求人数は、前年同月比24.2%増となり2カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業などで増加し、情報通信業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.14倍と、前月より0.06ポイント上昇した。
- ・労働力人口は、71万7,000人で同0.1%減となり、就業者数は、68万9,000人で同0.4%減となった。完全失業者数は2万7,000人で同3.8%増となり、完全失業率(季調値)は4.0%と前月より0.6ポイント悪化した。



出所: 沖縄労働局

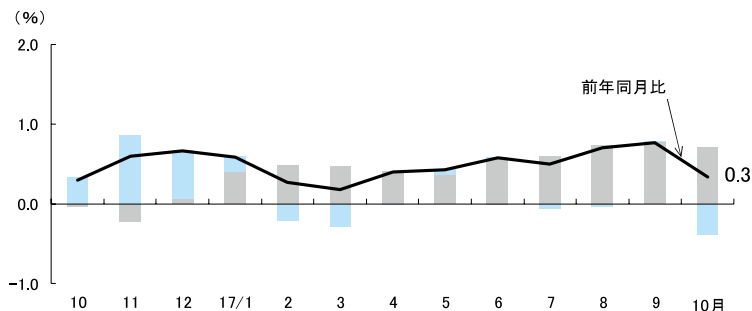
(注) 有効求人倍率は、2016年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

## ② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 13カ月連続で上昇

- ・消費者物価指数は、前年同月比0.3%増と13カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同0.7%増と前年を上回った。
- ・品目別の動きをみると、光熱・水道や交通・通信などは上昇し、食料などは下落した。



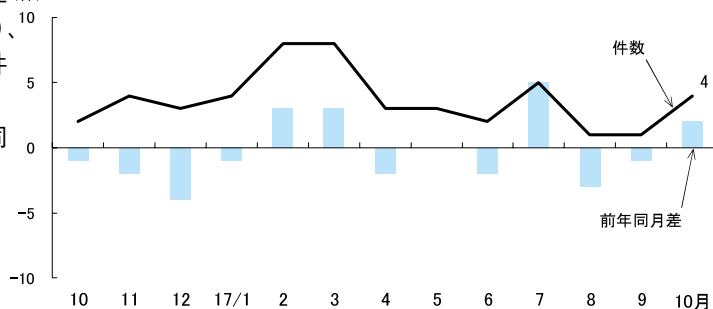
出所: 沖縄県 (注1) 端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。

(注2) 2016年7月より2015年=100に改定された。

## ③ 企業倒産

### 件数、負債総額ともに増加

- ・倒産件数は、4件で前年同月を2件上(件)回った。業種別では、建設業1件(同数)、不動産業1件(同数)、小売業1件(同1件増)、サービス業1件(同1件増)だった。
- ・負債総額は、3億700万円となり、前年同月比13.7%の増加だった。



出所: 東京商工リサーチ沖縄支店

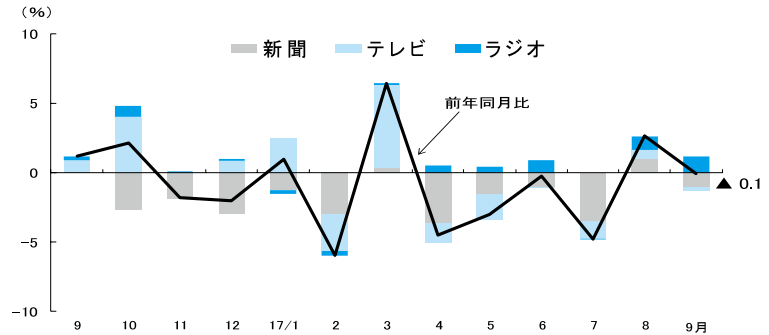
(注) 負債総額1,000万円以上

#### ④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

##### 2カ月ぶりに減少

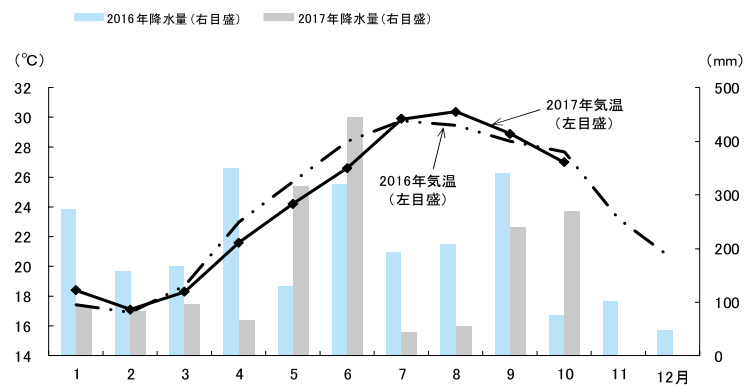
・広告収入(マスコミ:9月)は、前年同月比0.1%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

#### 参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は27.0℃となり、平年(25.2℃)より高く、前年同月(27.7℃)より低かった。降水量は270.0mmと前年同月(75.5mm)より多かった。
- ・沖縄地方は、上旬は太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、中旬以降は湿った空気や台風第21、22号、寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。沖縄本島地方は28日に台風第22号の影響で大荒れとなった。平均気温は平年よりかなり高く降水量は多く、日照時間は少なかった。



出所:沖縄気象台

# りゅうぎん調査 学びバンク



## 労働市場に供給余力

### 賃金上昇へ需要喚起を

りゅうぎん総合研究所 専務

久高 豊

雇用環境は改善しているのに、賃金が上がらないことが日本経済の大きな問題のひとつです。それに対して、国内にはこれまでの予想よりはるかに多くの労働力、つまり職があれば働きたい人がいたのであり、完全失業率が23年ぶりの2.8%にまで下がってもなお労働市場には大きな供給余力がある、という重要な指摘があります。

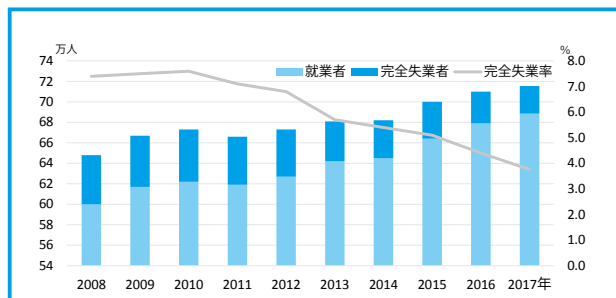
金融政策や財政政策といった経済政策によって需要を喚起することがまだまだ必要です。賃金は失業率が十分に下がり、完全雇用状態となって本格的に上がり始める、というわけです（今年に入って9カ月のうち7カ月が2.8%であることから、ようやく完全雇用に達したのかもしれませんが）。

県内でも好調な経済が続く、9月の完全失業率が3.4%とかなり低い水準にあります。ここ数年は、労働力人口が増加しながらも就業者がその伸びを上回り、失業率が低下していることが特筆されます。女性や高齢者、これまで就業をあきらめていた人の労働市場への参入が続いているものとみられます。

15歳から64歳の生産年齢人口は、全国が1998年から減少しているのに対し、沖縄の減少は2013年からです。ということは沖縄の労働市場における供給余力の大きさは、全国を上回っているとみるべきでしょう。

やはり、沖縄においても金融・財政政策による需要喚起がまだ必要であり、財政政策の効果を持つ沖縄振興予算は今後も高水準で推移することが望めます。

沖縄県の労働力人口（就業者＋失業者）と失業率



注：完全失業率（完全失業者／労働力人口×100、右目盛）は原数値。2017年は1～9月の平均。

出所：沖縄県企画統計課「労働力調査」



## 平良港整備事業

### クルーズ拠点に優位性

琉球銀行 宮古支店長

山入端 裕哉

最近の沖縄観光は、本島周遊だけでなく離島を目的地とする形態も増えてきています。宮古島市の入域観光客数をみると、2014年度が43万人、15年度は51万人、16年度は70万人と右肩上がりに増えています。宮古島市の観光客数は、まだまだ伸びるとみられます。その背景にあるのが、平良港のクルーズ拠点港としての整備です。

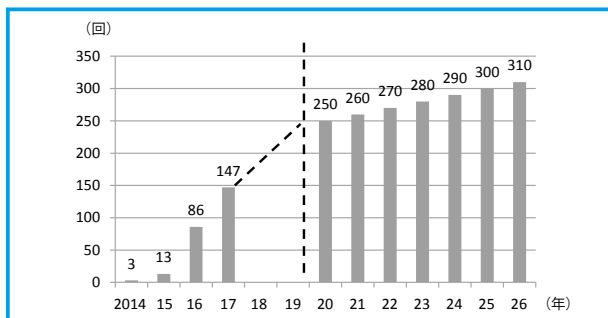
平良港は、アジアの中心に位置し地理的優位性をもつポテンシャルの高い港です。ことし1月、国土交通省による国際旅客船拠点形成港湾の指定を受け、クルーズ船の大型化と寄港数の増加に対応するために「平良港国際クルーズ拠点整備事業」を17年9月にスタートさせました。20年4月の供用を目指して370メートルの専用岸壁が新設され、旅客ターミナルが建てられます。

整備事業は国が岸壁を整備し、旅客ターミナルについては世界最大のクルーズ船運航会社のカーニバルコーポレーション&PLC社が整備し運営します。

平良港は、中国発着クルーズの主要拠点寄港地になるとともに、19年に開港が予定されている下地島空港を活用した空と海をつなぐ新しい展開も期待されています。

宮古島にとって本事業は、「世界水準のリゾート地」づくりに向けた大きな一歩になるはずで。これによって、交通インフラ（バス・タクシー）の整備や娯楽・飲食施設の充実、多言語対応できる人材の育成なども活発化するとみられます。

クルーズ船の寄港実績と今後の見込



出所：平良港湾事務所





## 民事信託の活用

### 自由度が高い資産管理

琉球銀行法人事業部法人ビジネス推進グループ 調査役  
小谷 怜

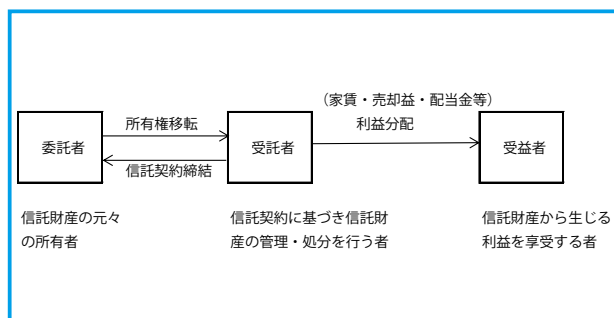
相続、資産管理や認知症への対応の手法として民事信託が最近注目を集めています。信託とは、分かりやすく言えば「私(委託者)の財産を信頼できる人(受託者)に託し、指定した人(受益者)のために管理・処分などを行うこと」です。

従来、信託の利用は信託業者に限定されていました。しかし、2007年の信託法改正によって、信託業者を介さずに家族や親族間などでの利用も可能になりました。民事信託は低コストのうえ自由度の高い設計が可能であることから、委託者の「想い」を反映しやすいという特徴を持ち、それが理解されるにつれて利用が広がってきたと考えられます。

これまで相続や資産管理の手法として、遺言・贈与・成年後見制度などが利用されてきました。これらの手法は現在も有効に機能していますが、さまざまな問題点についても指摘されています。例えば、遺言では「2次相続以降の財産分与が指定できない」、贈与では「一度贈与した財産を取戻すことが難しい」、成年後見制度では「家族の負担軽減を目的とした柔軟な資産管理が難しい」などが挙げられます。民事信託を利用あるいは併用することで、これらの問題点を補完することができます。

本稿では触れることができませんでしたが、民事信託は事業承継にも非常に有効な手段となります。今後、相続や資産承継・事業承継などの機会に係わる際には、民事信託も選択肢の1つとして検討することをおすすめします。

#### 民事信託の流れ



## ドローン市場拡大

### 6年間で6倍に成長

琉球銀行 大宮支店長  
比嘉 一史

ドローンとは、元々軍事用に開発された自律移動する端末ロボットのうち、小型の無人航空機のことを指し、近年では民間利用も増加傾向にあります。ドローンの形状はさまざまですが、一般的にはローター(回転翼)を複数搭載し、安定した飛行が可能なマルチコプターが主流です。

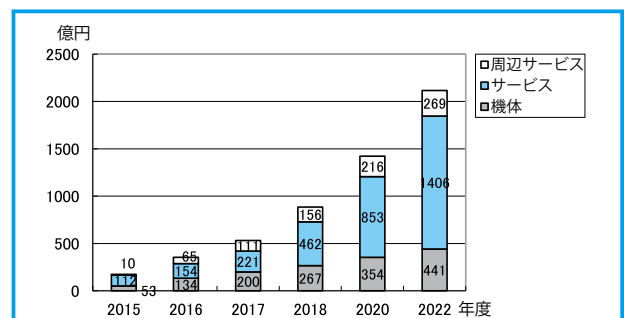
ドローンの利点は、カメラやセンサーを取り付けることによって、高い位置からの空撮や人が立ち入ることができない場所のデータの取得などが可能になることです。例えば、土木測量、農業調査、災害救助、自然環境調査、スポーツやイベントの中継、物品配送などと幅広い分野で活用や試行が行われています。

沖縄県建設業協会では、会員企業に対してドローンの操縦や建設現場での活用法を学ぶ講習会を開催し、ドローンを積極的に活用することで生産性の向上を図る取り組みを行っています。

ドローンはヘリコプターに比べて安価で、スマートフォンと共通する機能や部品が多いため、低価格で大量生産が可能です。そのためドローンのビジネス市場は拡大し続けています。国内の同市場は、2016年に353億円だったのが、22年には2,116億円と6年間で約6倍に急成長すると予想されています。

ドローン市場が拡大する一方で墜落などの事故が相次いでおり、国は飛行区域の法規制や操縦者の技術向上のために、民間団体が行う講習の公認制度を導入するなど安全対策に力を入れています。

#### 国内のドローンビジネス市場規模の予測



出所:『ドローンビジネス調査報告書 2017』インプレス総合研究所



Grant Thornton

An instinct for growth™

 経理部門の基本有用情報  
 太陽グラントソントン  
 今月の経理情報 2017年11月

## 今回のテーマ

### 未払残業代の税務

違法な長時間労働やそれに伴う過労死・過労自殺等が大きな社会問題となっており、労働基準監督署は監督指導を強化させているようです。このような状況下で、企業が過去の未払残業代の支払を行うケースが増えています。

#### 未払残業代の取り扱い

|          | 過年分給与として支給                                                                                                          | 一時金として支給               |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 法人税      | 支給日の属する事業年度の損金（法法 22）                                                                                               |                        |
| (源泉) 所得税 | 本来支給日の属する年分の給与所得（所基通 36-9（1））<br>①過年分の年末調整の再計算<br>②支給日の翌月 10 日までに不足税額の納付<br>③給与支払報告書の再提出<br>（④従業員が確定申告をしている場合は修正申告） | 賞与として支給日の属する年分の給与所得 ※1 |
| 消費税      | 不課税 ※2                                                                                                              |                        |
| 社会保険料    | 過年度の 4～6 月に対応するものであれば算定基礎届の再提出が必要 ※3                                                                                | 支給月の賞与の料率を適用           |

※1 支給日の属する年分の所得税とその翌年分の住民税の負担が増える点に注意が必要です。

※2 事業者免税点制度の判定上の「特定期間中の給与等支払額」には特定期間中に支払った支払明細書に記載すべきすべての給与等が対象となるため、実際に支払った日の属する特定期間の給与等支払額として認識することとなります（消法 9 の 2③）。

※3 4～6 月以外に対応するものに関しては、2 等級以上の変動がある場合は月額変更届の提出が必要となります。

#### お見逃しなく！

- 退職者に在職者と同様の条件で在職中の未払残業代等の給与の追加払いを行う場合は、退職したことに基因して支払われるものにはあたらないため、退職所得ではなく給与所得として源泉徴収することが必要です。この場合、原則として給与所得の源泉徴収税額表の乙欄で源泉徴収をすることとなりますが、扶養控除等申告書を他の勤務先等に新たに提出していないような場合は、甲欄での源泉徴収が認められることもあります。
- 労働基準法に違反すると最高で 300 万円の罰金を課されることがあります。罰金は法人税法上損金の額に算入されません（法法 55）。

## ECONOMIC DIARY

## 【経済日誌】

沖縄×日本全国・海外

2017.

11

## 沖縄

**11.7** 沖縄国税事務所によると、16年度の法人税の申告件数は24,011件（前年度比4.4%増）、申告所得金額の総額は2,567億5,800万円（同7.3%増）、申告税額の総額は529億200万円（同2.7%増）で、いずれも過去最高となった。

**11.13** 森トラスト㈱、ヒルトン、ヒルトン・グランド・バケーションズは、瀬底島に建設する宿泊施設の契約を締結した。森トラストが開発し、ヒルトンが約300室のヒルトン沖縄瀬底リゾート（仮称、20年開業）を運営、ヒルトン・グランド・バケーションズが132室のタイムシェア・リゾート（21年開業）を所有、運営する。

**11.13** 農業生産法人㈱もとぶ牧場は、那覇市において、台北市・四季捷有限公司、㈱JCCとともに、もとぶ牛の台湾輸出会見を行った。海外への輸出は、香港とシンガポールに続いて3地域目となる。

**11.17** ジェットスター・アジア航空は、沖縄（那覇）＝シンガポール線の運航を開始した。全便エアバスA320型機（180席）による週3往復の運航で、那覇発のエコノミーStarter運賃は片道1万200円からとなる。

**11.22** 沖縄振興開発金融公庫と公益財団法人九州経済調査協会によると、人手不足の状況について「現在不足している」と回答した県内企業は、正社員で46.8%（14年調査時25.8%）、非正規社員で41.1%（同28.4%）となり、人手不足が深刻化していることが明らかになった。

**11.27** 一般財団法人南西地域産業活性化センターによると、15年の国勢調査において、沖縄県の家族類型の中で「単独世帯（ひとり暮らし世帯）」の世帯数が「夫婦と子供から成る世帯」を初めて抜き、家族類型の中でトップとなった。世帯総数に占める割合は、「単独世帯」が32.4%、「夫婦と子供世帯」が30.5%となった。

## 全国・海外

**11.8** ㈱マイナビの「2018年卒マイナビ企業新卒内定状況調査」によると、今年（2018年卒）の「採用充足率（調査時点の内定者数/募集人数）」は、前年比4.7%ポイント減の83.0%だった。上場企業の充足率（95.3%）は前年（93.6%）を上回る一方、非上場企業（77.8%）は前年（82.5%）を下回った。

**11.14** ㈱東芝は、同社連結子会社の東芝映像ソリューション㈱の発行済株式の95%を中国ハイセンスグループに譲渡することを決定し、ハイセンスの中核事業会社である青島海信電器股份有限公司との間で株式譲渡契約を締結した。譲渡は18年2月末以降に完了予定。

**11.15** 内閣府によると、17年7－9月期のGDP成長率（季節調整済前期比、1次速報値）は実質成長率0.3%（年率1.4%）と7四半期連続のプラス成長、名目成長率0.6%（年率2.5%）となり、2四半期連続のプラス成長となった。

**11.15** 観光庁の訪日外国人消費動向調査によると、17年7－9月期の訪日外国人旅行者の14.9%が「有償での住宅宿泊」を利用していた。客層の年代は「20代以下」の若年層が多く、往復交通手段は「LCC」利用者が非利用者より多かった。

**11.15** 厚生労働省の17年「賃金構造基本統計調査（初任給）」の結果によると、男女計の初任給は、全ての学歴（大学院修士課程修了、大学卒、高専・短大卒、高校卒）において4年連続で増加した。

**11.23** 三菱マテリアル㈱は、同社連結子会社である三菱電線工業㈱および三菱伸銅㈱において、過去に製造販売した製品の一部について検査記録データの書き換え等の不適切な行為により、規格値または社内仕様値を逸脱した製品（不適合品）を出荷した事実が判明したことを公表した。



# 沖縄県内の主要経済指標

|        | 百貨店<br>売上高   | スーパー<br>売上高<br>(既存店) | スーパー<br>売上高<br>(全店) | 電気製品<br>卸売額 | 新車販売<br>台数 | 中古自動車<br>販売台数 | 公共工事請負額          |        | 建築着工床面積 |        |
|--------|--------------|----------------------|---------------------|-------------|------------|---------------|------------------|--------|---------|--------|
| 暦年     | 前年比          | 前年比                  | 前年比                 | 前年比         | 前年比        | 前年比           | 百万円              | 前年比    | 千平米     | 前年比    |
| 2014   | 6.9          | 2.5                  | 3.3                 | ▲ 6.2       | 7.8        | 4.8           | 294,689          | 10.5   | 2,098   | ▲ 1.8  |
| 2015   | 14.5         | 3.1                  | 5.6                 | ▲ 6.9       | ▲ 4.3      | 2.3           | 321,300          | 9.0    | 2,037   | ▲ 2.9  |
| 2016   | 2.7          | 3.4                  | 4.4                 | 0.7         | 2.5        | 4.2           | 333,988          | 3.9    | 2,103   | 3.2    |
| 2016 9 | 2.0          | 1.7                  | 1.9                 | 0.5         | ▲ 5.2      | 3.1           | 37,867           | 22.8   | 213     | 33.9   |
| 10     | ▲ 4.3        | 3.7                  | 3.8                 | ▲ 13.4      | 4.5        | ▲ 5.0         | 36,683           | ▲ 24.1 | 209     | 8.9    |
| 11     | ▲ 5.9        | 3.1                  | 3.3                 | 7.0         | 6.9        | 9.5           | 24,026           | 62.2   | 151     | ▲ 18.6 |
| 12     | 3.1          | 1.4                  | 1.6                 | 2.4         | ▲ 4.4      | 4.0           | 23,920           | 25.1   | 270     | 100.5  |
| 2017 1 | 1.7          | 2.0                  | 2.2                 | ▲ 4.2       | 1.8        | 6.3           | 29,148           | 138.9  | 228     | 6.2    |
| 2      | 2.0          | ▲ 3.3                | ▲ 3.1               | ▲ 1.5       | 8.2        | ▲ 0.8         | 27,499           | ▲ 38.6 | 111     | ▲ 28.2 |
| 3      | 1.8          | 2.4                  | 2.2                 | 1.1         | 6.5        | ▲ 0.3         | 45,553           | 14.0   | 133     | 10.8   |
| 4      | ▲ 0.0        | 2.4                  | 2.2                 | ▲ 5.1       | ▲ 9.2      | 3.3           | 17,823           | 0.7    | 155     | ▲ 14.9 |
| 5      | ▲ 0.1        | 0.4                  | 0.0                 | ▲ 7.7       | 1.9        | 3.4           | 16,886           | 18.4   | 103     | ▲ 13.6 |
| 6      | 4.5          | 0.1                  | ▲ 0.1               | ▲ 0.5       | 14.1       | 3.0           | 33,703           | 43.9   | 221     | 18.0   |
| 7      | ▲ 4.9        | 1.5                  | 1.8                 | 4.2         | ▲ 8.9      | 4.1           | 45,031           | 31.8   | 448     | 175.3  |
| 8      | 11.5         | ▲ 3.8                | ▲ 2.1               | 11.5        | 12.5       | 10.0          | 41,576           | 66.3   | 193     | 61.1   |
| 9      | 4.2          | 11.5                 | 13.1                | ▲ 1.8       | 6.3        | ▲ 1.0         | 23,363           | ▲ 38.3 | ▲ 153   | ▲ 28.0 |
| 10     | 2.7          | 1.9                  | 2.7                 | 3.7         | 1.4        | 6.4           | 28,073           | ▲ 23.5 | -       | -      |
| 出所     | りゅうぎん総合研究所調べ |                      |                     |             | 自販協        | 中古<br>自販協     | 西日本建設業保証<br>沖縄支店 |        | 国土交通省   |        |

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

|        | 新設住宅着工戸数 |        | 建設<br>受注額    | セメント<br>出荷数量 | 生コン<br>出荷数量 | 鋼材<br>売上高 | 木材<br>売上高 | 観光施設<br>入場者数 | ゴルフ場<br>入場者数 | 広告<br>収入 |
|--------|----------|--------|--------------|--------------|-------------|-----------|-----------|--------------|--------------|----------|
| 暦年     | 戸        | 前年比    | 前年比          | 前年比          | 前年比         | 前年比       | 前年比       | 前年比          | 前年比          | 前年比      |
| 2014   | 15,426   | ▲ 7.2  | 10.7         | 18.3         | 4.6         | 9.4       | 9.1       | 6.7          | 0.7          | 4.0      |
| 2015   | 16,136   | 4.6    | 22.7         | 3.4          | ▲ 1.2       | ▲ 11.0    | ▲ 5.0     | 6.2          | 4.1          | ▲ 1.2    |
| 2016   | 16,201   | 0.4    | 7.5          | ▲ 7.6        | ▲ 14.2      | ▲ 12.6    | ▲ 6.6     | 2.6          | ▲ 2.9        | 0.3      |
| 2016 9 | 1,714    | 12.2   | 5.8          | ▲ 17.3       | ▲ 21.7      | ▲ 13.5    | ▲ 13.3    | ▲ 0.3        | ▲ 4.5        | 1.2      |
| 10     | 1,731    | 54.8   | ▲ 2.0        | ▲ 12.4       | ▲ 9.7       | ▲ 6.2     | 1.5       | 2.4          | ▲ 6.0        | 2.1      |
| 11     | 1,057    | ▲ 19.1 | 8.8          | ▲ 1.3        | 2.9         | ▲ 0.1     | ▲ 3.6     | ▲ 4.2        | ▲ 5.6        | ▲ 1.8    |
| 12     | 1,728    | 32.3   | ▲ 11.6       | 5.8          | ▲ 1.3       | ▲ 6.1     | ▲ 8.0     | 3.9          | 0.3          | ▲ 2.0    |
| 2017 1 | 1,215    | ▲ 11.1 | ▲ 9.1        | 13.6         | 5.9         | 18.6      | 5.0       | 6.1          | 9.1          | 1.0      |
| 2      | 1,125    | 12.5   | ▲ 41.1       | 0.1          | ▲ 2.8       | 23.6      | ▲ 11.3    | ▲ 1.9        | ▲ 1.2        | ▲ 6.0    |
| 3      | 1,375    | 29.5   | ▲ 37.1       | 4.1          | 20.1        | 36.4      | ▲ 4.1     | 7.8          | 3.2          | 6.4      |
| 4      | 1,528    | 8.4    | 131.6        | 6.1          | 12.9        | 8.1       | ▲ 14.3    | 8.0          | 4.8          | ▲ 4.5    |
| 5      | 1,048    | ▲ 3.4  | ▲ 43.9       | 10.8         | 12.9        | 37.2      | ▲ 1.9     | 3.5          | ▲ 3.1        | ▲ 3.0    |
| 6      | 1,343    | ▲ 12.5 | ▲ 11.3       | 5.2          | 6.6         | 38.2      | ▲ 4.7     | 4.5          | 1.1          | ▲ 0.2    |
| 7      | 1,915    | 33.7   | 92.1         | 15.7         | 13.8        | 23.6      | 5.7       | 4.5          | 3.5          | ▲ 4.8    |
| 8      | 1,425    | 31.7   | 39.1         | 30.5         | 23.5        | 25.3      | 16.8      | 4.8          | 3.7          | 2.6      |
| 9      | 1,213    | ▲ 29.2 | ▲ 56.0       | 8.0          | 2.0         | 39.1      | 7.1       | ▲ 2.9        | 4.1          | ▲ 0.1    |
| 10     | -        | -      | 61.3         | 13.1         | ▲ 1.1       | 23.7      | ▲ 3.1     | ▲ 3.2        | ▲ 0.6        | -        |
| 出所     | 国土交通省    |        | りゅうぎん総合研究所調べ |              |             |           |           |              |              |          |

注) 建設受注額は、2017年8月より調査先を20社から19社とした。

| 暦年     | 入域観光客数           |      | 入域観光客数のうち外国客 |       | ホテル稼働率<br>(実数) |      | ホテル売上高<br>(前年比) |       | 鉱工業生産指数<br>(季調値) |       |
|--------|------------------|------|--------------|-------|----------------|------|-----------------|-------|------------------|-------|
|        | 千人               | 前年比  | 千人           | 前年比   | 市内             | リゾート | 市内              | リゾート  | 2010年=100        | 前年比   |
| 2014   | 7,058.3          | 10.1 | 893.5        | 62.2  | 79.0           | 77.8 | 5.1             | 5.0   | 104.6            | 2.0   |
| 2015   | 7,763.0          | 10.0 | 1,501.2      | 68.0  | 81.8           | 78.9 | 4.5             | 7.2   | 100.7            | ▲ 3.7 |
| 2016   | 8,613.1          | 11.0 | 2,082.1      | 38.7  | P82.1          | 79.3 | P3.3            | 4.1   | 95.5             | ▲ 5.2 |
| 2016 9 | 793.0            | 9.4  | 203.4        | 36.0  | 89.9           | 90.8 | ▲ 2.0           | 0.8   | 94.2             | ▲ 1.2 |
| 10     | 767.9            | 10.2 | 194.7        | 34.2  | 83.0           | 85.6 | 5.9             | 6.2   | 102.7            | 0.4   |
| 11     | 650.2            | 4.9  | 110.2        | ▲ 2.8 | 80.8           | 74.6 | ▲ 5.6           | 1.6   | 96.7             | ▲ 0.5 |
| 12     | 663.0            | 8.1  | 137.2        | 6.9   | 77.0           | 63.1 | 8.0             | 5.1   | 99.1             | 1.6   |
| 2017 1 | 653.0            | 12.3 | 147.2        | 28.1  | 77.6           | 68.2 | 0.6             | 4.5   | 98.1             | 9.5   |
| 2      | 637.9            | 2.5  | 144.1        | ▲ 3.9 | 87.7           | 85.1 | ▲ 4.0           | ▲ 1.2 | 86.3             | 1.8   |
| 3      | 778.5            | 9.8  | 158.4        | 14.9  | 84.2           | 80.6 | 3.5             | 5.1   | 114.0            | 9.5   |
| 4      | 752.9            | 11.4 | 217.6        | 34.2  | 81.0           | 79.2 | ▲ 1.2           | 1.6   | 105.1            | 12.3  |
| 5      | 740.6            | 6.2  | 216.8        | 5.0   | 77.5           | 70.9 | 6.4             | 9.6   | 93.2             | 4.7   |
| 6      | 798.8            | 11.8 | 261.5        | 21.1  | 81.0           | 76.6 | 2.6             | 2.5   | 97.8             | 2.6   |
| 7      | 907.9            | 12.7 | 292.7        | 34.7  | 83.6           | 86.7 | ▲ 3.4           | 1.8   | 94.8             | ▲ 1.9 |
| 8      | 1,002.5          | 8.2  | 275.7        | 18.8  | 88.6           | 89.7 | 0.4             | ▲ 0.5 | 108.3            | 15.3  |
| 9      | 837.1            | 5.6  | 233.5        | 14.8  | P88.4          | 88.4 | P▲2.2           | ▲ 6.9 | 96.1             | 5.4   |
| 10     | 799.3            | 4.1  | 229.2        | 17.7  | P81.3          | 84.9 | P▲5.6           | ▲ 2.2 | -                | -     |
| 出所     | 県文化観光スポーツ部 観光政策課 |      |              |       | りゅうぎん総合研究所調べ   |      |                 |       | 県企画部統計課          |       |

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年＝100に改定された。

| 暦年     | 企業倒産件数       | 負債総額   |        | 消費者物価指数 | 失業率<br>(季調値) | 就業者数  | 有効求人倍率<br>(季調値) | 新規求人数<br>(県内) | 通関輸出   | 通関輸入    |
|--------|--------------|--------|--------|---------|--------------|-------|-----------------|---------------|--------|---------|
|        | 件            | 百万円    | 前年比    | 前年比     | %            | 前年比   | 倍               | 前年比           | 百万円    | 百万円     |
| 2014   | 78           | 10,112 | ▲ 73.7 | 2.5     | 5.4          | 0.5   | 0.69            | 14.7          | 80,589 | 380,584 |
| 2015   | 68           | 10,387 | 2.7    | 0.6     | 5.2          | 2.9   | 0.84            | 12.1          | 42,785 | 267,346 |
| 2016   | 42           | 5,158  | ▲ 50.3 | 0.1     | 4.4          | 2.3   | 0.97            | 10.3          | 27,688 | 176,881 |
| 2016 9 | 2            | 240    | ▲ 63.0 | ▲ 0.2   | 3.6          | 2.3   | 0.98            | 14.4          | 1,153  | 7,114   |
| 10     | 2            | 270    | ▲ 18.9 | 0.3     | 3.9          | 2.7   | 1.00            | ▲ 8.4         | 2,528  | 8,372   |
| 11     | 4            | 770    | 15.8   | 0.6     | 4.4          | 1.3   | 1.02            | 23.2          | 3,890  | 11,864  |
| 12     | 3            | 200    | ▲ 78.2 | 0.7     | 3.5          | 5.0   | 1.03            | 9.2           | 1,752  | 9,550   |
| 2017 1 | 4            | 141    | ▲ 62.4 | 0.6     | 3.5          | 3.7   | 1.08            | 8.3           | 1,293  | 14,873  |
| 2      | 8            | 760    | 169.5  | 0.3     | 4.1          | 1.3   | 1.02            | 1.5           | 1,365  | 7,919   |
| 3      | 8            | 1,766  | ▲ 13.9 | 0.2     | 4.1          | 0.7   | 1.01            | 2.1           | 6,192  | 17,651  |
| 4      | 3            | 130    | ▲ 78.2 | 0.4     | 3.4          | 3.1   | 1.12            | 16.7          | 1,305  | 23,669  |
| 5      | 3            | 391    | 220.5  | 0.4     | 3.3          | 2.4   | 1.13            | 10.6          | 1,505  | 13,804  |
| 6      | 2            | 70     | ▲ 36.4 | 0.6     | 4.6          | 1.9   | 1.18            | 2.6           | 1,855  | 15,124  |
| 7      | 5            | 334    | 100.0  | 0.5     | 3.5          | 4.0   | 1.15            | 8.6           | 1,520  | 11,545  |
| 8      | 1            | 157    | 9.8    | 0.7     | 3.2          | 1.6   | 1.11            | 5.8           | 2,265  | 12,714  |
| 9      | 1            | 16     | ▲ 93.3 | 0.8     | 3.4          | ▲ 0.4 | 1.08            | ▲ 2.0         | 7,495  | 14,231  |
| 10     | 4            | 307    | 13.7   | 0.3     | 4.0          | ▲ 0.4 | 1.14            | 24.2          | 3,397  | 25,490  |
| 出所     | 東京商工リサーチ沖縄支店 |        |        | 県企画部統計課 |              |       | 沖縄労働局           |               | 沖縄地区税関 |         |

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

# 沖縄県内の金融統計

|        | 銀行券<br>発行額 | 銀行券<br>還収額 | 銀行券<br>増減<br>(▲還収超) | 貸出金利<br>(地銀3行) | 手形交換高(金額は億円) |        |       |        | 不渡実数<br>(金額) | 不渡<br>発生率 |
|--------|------------|------------|---------------------|----------------|--------------|--------|-------|--------|--------------|-----------|
| 年度     | 億円         | 億円         | 億円                  | %              | 千枚           | 前年比    | 金額    | 前年比    | 百万円          | %         |
| 2014FY | 3,140      | 4,405      | ▲ 1,320             | 1.955          | 253          | ▲ 5.4  | 4,162 | ▲ 5.8  | 349          | 0.084     |
| 2015FY | 3,247      | 4,470      | ▲ 1,225             | 1.822          | 245          | ▲ 3.1  | 4,129 | ▲ 0.8  | 331          | 0.080     |
| 2016FY | 2,830      | 4,284      | ▲ 1,452             | 1.628          | 229          | ▲ 6.6  | 3,767 | ▲ 8.8  | 138          | 0.037     |
| 2016 9 | 182        | 404        | ▲ 221               | 1.658          | 19           | ▲ 5.8  | 306   | ▲ 15.2 | 26           | 0.084     |
| 10     | 228        | 336        | ▲ 107               | 1.648          | 18           | ▲ 0.1  | 286   | 3.1    | 2            | 0.008     |
| 11     | 203        | 315        | ▲ 111               | 1.639          | 18           | ▲ 13.2 | 271   | ▲ 27.5 | 1            | 0.003     |
| 12     | 541        | 171        | 370                 | 1.628          | 18           | ▲ 13.2 | 271   | ▲ 27.5 | 1            | 0.003     |
| 2017 1 | 111        | 562        | ▲ 450               | 1.620          | 18           | 1.2    | 299   | 4.7    | 1            | 0.004     |
| 2      | 206        | 301        | ▲ 95                | 1.613          | 18           | ▲ 16.4 | 283   | ▲ 18.5 | 8            | 0.030     |
| 3      | 225        | 376        | ▲ 151               | 1.596          | 20           | ▲ 6.8  | 339   | ▲ 8.9  | 44           | 0.130     |
| 4      | 287        | 295        | ▲ 8                 | 1.600          | 16           | ▲ 7.9  | 286   | ▲ 3.7  | 42           | 0.147     |
| 5      | 165        | 467        | ▲ 301               | 1.584          | 21           | ▲ 2.9  | 370   | ▲ 4.4  | 33           | 0.090     |
| 6      | 208        | 362        | ▲ 154               | 1.579          | 20           | ▲ 7.2  | 331   | ▲ 4.2  | 1            | 0.002     |
| 7      | 191        | 296        | ▲ 104               | 1.574          | 18           | 4.1    | 320   | 18.4   | 0            | 0.000     |
| 8      | 183        | 375        | ▲ 192               | 1.571          | 18           | ▲ 17.5 | 356   | ▲ 10.2 | 0            | 0.001     |
| 9      | 185        | 383        | ▲ 198               | 1.569          | 16           | ▲ 16.6 | 255   | ▲ 16.7 | 0            | 0.000     |
| 10     | -          | -          | -                   | -              | 19           | 5.4    | 330   | 15.6   | 0            | 0.000     |
| 出所     | 日本銀行那覇支店   |            |                     |                | 那覇手形交換所      |        |       |        |              |           |

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

|        | 地銀3行預金量<br>(信託勘定含む未残) |       | 地銀3行融資量<br>(信託勘定含む未残) |     | 県内金融機関<br>の預貯金残高<br>(郵便貯金は含まない) |     | 沖縄振興開発<br>金融公庫融資量<br>(未残) |       | 沖縄県信用保証協会<br>債務残高 |       |
|--------|-----------------------|-------|-----------------------|-----|---------------------------------|-----|---------------------------|-------|-------------------|-------|
| 年度     | 億円                    | 前年比   | 億円                    | 前年比 | 億円                              | 前年比 | 億円                        | 前年比   | 億円                | 前年比   |
| 2014FY | 44,575                | 5.5   | 31,332                | 5.5 | 42,849                          | 3.2 | 8,152                     | ▲ 0.3 | 1,391             | ▲ 8.8 |
| 2015FY | 45,359                | 1.8   | 33,039                | 5.4 | 44,713                          | 4.3 | 8,057                     | ▲ 1.2 | 1,278             | ▲ 8.1 |
| 2016FY | 45,634                | 0.6   | 34,673                | 4.9 | 46,088                          | 3.1 | 8,199                     | 1.8   | 1,201             | ▲ 6.8 |
| 2016 9 | 45,177                | ▲ 0.1 | 33,389                | 5.5 | 46,716                          | 2.8 | 7,949                     | 1.9   | 1,226             | ▲ 6.5 |
| 10     | 44,971                | ▲ 0.3 | 33,285                | 6.1 | 46,057                          | 2.1 | 8,064                     | 2.9   | 1,214             | ▲ 7.2 |
| 11     | 45,547                | ▲ 0.1 | 33,538                | 5.8 | 46,507                          | 2.5 | 8,021                     | 2.3   | 1,205             | ▲ 7.5 |
| 12     | 45,258                | ▲ 1.0 | 33,790                | 5.0 | 46,570                          | 2.4 | 8,010                     | 2.3   | 1,207             | ▲ 6.6 |
| 2017 1 | 45,064                | 0.5   | 33,975                | 5.7 | 46,436                          | 2.7 | 8,181                     | 5.1   | 1,197             | ▲ 6.1 |
| 2      | 45,335                | 0.5   | 34,232                | 5.6 | 46,174                          | 2.7 | 8,181                     | 5.7   | 1,192             | ▲ 6.1 |
| 3      | 45,634                | 0.6   | 34,673                | 4.9 | 46,533                          | 3.7 | 8,199                     | 1.8   | 1,201             | ▲ 6.8 |
| 4      | 46,526                | 1.2   | 34,083                | 5.4 | 47,452                          | 3.5 | 8,185                     | 2.6   | 1,167             | ▲ 5.5 |
| 5      | 46,351                | 0.4   | 34,347                | 5.5 | 47,492                          | 3.1 | 8,157                     | 3.1   | 1,144             | ▲ 5.7 |
| 6      | 46,456                | 0.6   | 34,441                | 5.2 | 48,269                          | 3.2 | 8,120                     | 3.2   | 1,135             | ▲ 6.3 |
| 7      | 46,626                | 1.6   | 34,622                | 5.4 | 48,235                          | 2.9 | 8,086                     | 3.1   | 1,139             | ▲ 6.3 |
| 8      | 46,476                | 2.0   | 34,803                | 5.4 | 48,028                          | 3.1 | 8,082                     | 1.9   | 1,142             | ▲ 6.3 |
| 9      | 46,707                | 3.4   | 35,151                | 5.3 | 48,375                          | 3.6 | 8,092                     | 1.8   | 1,148             | ▲ 6.4 |
| 10     | -                     | -     | -                     | -   | -                               | -   | -                         | -     | 1,149             | ▲ 5.4 |
| 出所     | 沖縄県銀行協会               |       |                       |     | 日本銀行那覇支店                        |     | 沖縄振興開発金融<br>公庫            |       | 沖縄県信用保証協会         |       |

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から小切手・手形を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。



# りゅうぎん ポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ！

## とくとく特典

特典1

ATM時間外  
手数料が **無料!**  
(当行ATM利用時のみ)

特典2

当行本支店間の  
振込手数料が **無料!**  
(キャッシュカード使用時のみ)

特典3

スーパー定期の  
金利を上乗せ!  
(※店頭表示金利+0.05%)

## ポイントサービスとは!

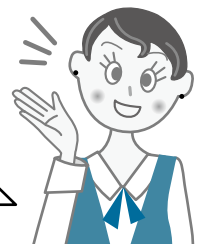
日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

エクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。

**0120-19-8689**

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

## 特集レポートバックナンバー

### ■平成28年

- 1月 (No.555) 経営トップに聞く 社会医療法人仁愛会  
An Entrepreneur 有限会社島袋瓦工場  
特集 沖縄県経済2015年の回顧と2016年の展望
- 2月 (No.556) 経営トップに聞く 株式会社ジャンボツアーズ  
An Entrepreneur あーびゃんもーゆ琉球月桃
- 3月 (No.557) 経営トップに聞く 株式会社前田鶏卵  
An Entrepreneur 株式会社グランディール  
特別寄稿 沖縄観光の長期展望
- 4月 (No.558) 経営トップに聞く 大晋建設株式会社  
An Entrepreneur 株式会社エスベレ  
特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向(2015年)
- 5月 (No.559) 経営トップに聞く 株式会社徳里産業  
An Entrepreneur 有限会社石川種麴店
- 6月 (No.560) 経営トップに聞く 医療法人博寿会  
An Entrepreneur 合同会社キンアグー
- 7月 (No.561) 経営トップに聞く 株式会社okicom  
An Entrepreneur 株式会社リュウクス
- 8月 (No.562) 経営トップに聞く 株式会社プレンティールホールディングス  
An Entrepreneur 株式会社バイオジェット
- 9月 (No.563) 経営トップに聞く 株式会社森山写真商会  
An Entrepreneur 琉球インタラクティブ株式会社
- 10月 (No.564) 経営トップに聞く 株式会社丸大  
An Entrepreneur みかん・おれんじグループ
- 11月 (No.565) 経営トップに聞く デルタ電気工業株式会社  
An Entrepreneur 株式会社ABCメディカルサポート  
特集 宮古ロックフェスティバル2016の経済効果
- 12月 (No.566) 経営トップに聞く フォーモストブルーシール株式会社  
An Entrepreneur 真幸組株式会社

### ■平成29年

- 1月 (No.567) 経営トップに聞く 株式会社かりゆし  
An Entrepreneur 有限会社コムテック創研  
特集1 県内企業の人手不足の対応と課題  
特集2 沖縄県経済2016年の回顧と2017年の展望
- 2月 (No.568) 経営トップに聞く 株式会社アレックス  
An Entrepreneur 有限会社浦西開発
- 3月 (No.569) 経営トップに聞く 株式会社富士葬祭  
An Entrepreneur yuri FACTORY  
特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向(2016年)
- 4月 (No.570) 経営トップに聞く 有限会社沖縄長生薬草本社  
An Entrepreneur 株式会社琉球ファクトリー
- 5月 (No.571) 経営トップに聞く 株式会社ナンポー  
An Entrepreneur 農業生産法人安座間珈琲農園合同会社  
特集1 沖縄県の主要経済指標  
特集2 2016年度の沖縄県経済の動向
- 6月 (No.572) 経営トップに聞く 株式会社次郎工業  
An Entrepreneur 株式会社EGL OKINAWA
- 7月 (No.573) 経営トップに聞く 生活協同組合コープおきなわ  
An Entrepreneur イーストホームタウン沖縄株式会社  
特集 沖縄県内における2017年プロ野球春季キャンプの経済効果
- 8月 (No.574) 経営トップに聞く 医療法人六人会  
An Entrepreneur レキオファーマ株式会社  
特集 第32回NAHAマラソンの経済波及効果
- 9月 (No.575) 経営トップに聞く 株式会社学友館  
An Entrepreneur フーランジェリーパティスリー いまいパン
- 10月 (No.576) 経営トップに聞く 興南施設管理株式会社  
An Entrepreneur 株式会社フルステム
- 11月 (No.577) 経営トップに聞く 株式会社大和工業  
An Entrepreneur 合同会社暮らししかたらば

変革するビジネス環境を  
お客様第一でトータルサポート。



詳しくは

リウコム

検索

沖縄の IT 総合サービス企業



<http://www.ryucom.co.jp>

代表取締役社長 石川 眞一

■本社

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル11階  
TEL.098-867-2584(代) FAX.098-867-2583

■浦添データセンター

〒901-2121 沖縄県浦添市内間4丁目1番1号 琉球銀行浦添ビル6階  
TEL.098-876-3121(代) FAX.098-876-7065

りゅうぎん調査

No.578

平成29年 12月 5日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所

〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9

りゅうぎん健保会館3階

TEL 835-4650 FAX 833-3732

印刷：沖縄高速印刷株式会社



古紙配合率80%以上生紙を使用しています